平成 29 年度宮崎新卒者等就職・採用応援本部会議

新規学卒者等をとりまく就職・採用等の状況について
 (H29.9 月分 進捗状況)

宮崎労働局職業安定課雇用企画係平成29年11月20日(月)

新規学校卒業者の求職・求人・就職の状況

〈平成30年3月卒業予定者〉

宮崎労働局

						亚战(29年9月末	油 大	늠	前年同月		宮崎労働局 対前年
		区		分		計	男男	女		男男	女	增減率·差
		-										
	1	·求 —	職	者	数 	4	4	0	4	4	0	0.0%
中			うち	県内		4	4	0	4	4	0	0.0%
			うち	県 外		0	0	0	0	0	0	0.0%
学	2	就	職内	定者	数	0	0	0	0	0	0	0.0%
			うち	県内		0	0	0	0	0	0	0.0%
卒			うち	県外		0	0	0	0	0	0	0.0%
ľ		ļ	就職内定 県内内定			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
業	3	求	•	人	数	0			0			_
{	4	求	人倍	率③	/ ①	0.00			0.00			0.00
	1	求	職	者	数	2,561	1,604	957	2,745	1,664	1,081	-6.7%
			うち	県内		1,457	780	677	1,523	788	735	-4.3%
高			うち	県外		1,104	824	280	1,222	876	346	-9.7%
		Ž	求職者全 県内希望			56.9%	48.6%	70.7%	55.5%	47.4%	68.0%	1.4
	2	就	職内	定者	数	1,434	947	487	1,531	984	547	-6.3%
			うち	県内		735	401	334	689	363	326	6.7%
校			うち	県外		699	546	153	842	621	221	-17.0%
		ļ	就職内定 県内内定			51.3%	42.3%	68.6%	45.0%	36.9%	59.6%	6.3
	3	有	効 求	職者	数	1,127	657	470	1,214	680	534	-7.2%
			うち	県内		722	379	343	834	425	409	-13.4%
卒			うち	県 外		405	278	127	380	255	125	6.6%
	4	求		人	数	3,866			3,400			13.7%
	(5)	求	人倍	率 ④	/ ①	1.51			1.24			0.27
₩		ļ	県内求職 求人	者に対す 、倍率	る	2.65			2.23			0.42
業	6	就	職内定	室率②	/ ①	56.0%	59.0%	50.9%	55.8%	59.1%	50.6%	0.2
			うち	県内		50.4%	51.4%	49.3%	45.2%	46.1%	44.4%	5.2
			うち	県外		63.3%	66.3%	54.6%	68.9%	70.9%	63.9%	-5.6

※求人数は県内の事業所より提出されたものを公表している。

				新	規高等	学校卒:	業者の	求人・	求職・	就職状》				
			7月末	8月末(9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末
		H 6.3卒	_	_	48.5	72.3	79.8	84.5	88.9	93.9	97.8	100.0	-	-
	ŀ	H 7.3卒			44.9	68.3	75.6	80.9	86.7	93.4	97.8	100.0	_	_
	ŀ	H 8. 3卒			41.6	65.3	73.0	80.1	86.6	93.6	97.4	99.1	_	_
	ŀ	H 9. 3卒			41.0	65.5	73.0	78.9	84.9	92.9	97.3	98.6	_	_
	ŀ	H10. 3卒			43.0	61.7	72.2	77.0	82.7	89.3	95.2	97.7	_	_
	ŀ	H11. 3卒			39.1	57.7	64.6	70.3	75.7	85.4	90.5	96.1	_	_
	ŀ	H12. 3卒			30.6	48.9	56.5	63.9	73.1	87.2	94.1	96.5	98.5	99.4
	ŀ	H13. 3卒			32.8	50.5	59.6	66.2	78.4	87.9	93.6	97.4	97.8	98.8
	求	H14. 3卒			26.7	45.0	52.0	61.6	71.1	82.4	89.6	95.2	95.3	98.0
	職	H15. 3卒			26.4	44.0	51.6	61.6	70.8	82.2	92.0	94.2	95.5	97.8
	者全	H16. 3卒			25 26.1	44.7	52.9	65.6	74.1	87.4	93.4	95.9	98.2	99.1
	本	H17. 3卒			30.2	51.8	62.8	73.3	80.1	88.8	94.5	96.4	97.6	98.5
	の	H18. 3卒			36.9	57.8	66.4	77.7	83.3	92.1	95.7	97.2	98.4	98.7
	内	H19. 3卒			38.1	61.6	72.5	82.5	88.0	94.2	97.1	97.5	98.2	98.7
	定率	H20. 3卒			42.8	67.4	74.9	85.7	90.1	95.4	97.7	98.4	98.6	98.7
	-	H21. 3卒			43.5	66.7	74.9	83.3	87.9	93.7	96.4	96.8	98.1	98.3
	4	H22. 3卒	_	_	31.9	54.4	63.3	74.6	80.9	90.4	94.4	94.9	97.4	98.8
	/	H23. 3卒	_		39.8	61.6	69.8	80.6	85.8	93.9	97.1	98.2	98.4	99.3
	2	H24. 3卒	_		39.4	66.2	75.2	85.9	91.2	96.4	98.3	98.9	99.2	99.3
	ŀ	H25. 3卒	_		35.5	66.2	79.4	89.8	93.7	97.3	99.1	99.4	99.9	99.9
		H26. 3卒			36.0	70.7	83.6	92.8	95.7	98.4	99.2	99.6	99.9	100.0
		H27. 3卒			48.7	76.1	86.8	92.6	96.0	98.3	99.6	99.8	99.9	99.9
		H28. 3卒			50.3	80.2	88.4	93.4	96.1	98.4	99.6	99.9	99.9	100.0
		H29. 3卒			55.8	82.3	89.3	94.0	96.4	98.6	99.3	99.6	99.6	99.8
内		H30. 3卒		_	① 56.0	02.3	09.5	34.0	30.4	90.0	99.5	33.0	99.0	99.0
	ŀ	対前年増減幅	_	_	0.2									
定-		H 6. 3卒	_	_	36.7	64.3	72.0	78.0	84.3	91.2	96.8	100.0	_	_
率	ŀ	H 7. 3卒		_	35.1	58.7	66.9	73.3	80.9	90.1	96.7	100.0	_	_
半	ŀ	H 8. 3卒			31.3	57.8	65.5	73.7	81.6	90.9	96.3	98.7	_	_
	ŀ	H 9. 3卒			31.5	55.5	64.0	71.7	79.0	89.3	95.7	97.9	_	_
	ŀ	H10. 3卒		_	31.0	50.9	61.0	66.5	73.8	83.1	92.0	96.0	_	_
	ŀ	H11. 3卒			24.3	42.9	49.6	56.9	64.5	77.8	85.0	93.5	_	_
	ŀ	H12. 3卒		_	20.1	38.5	47.7	54.3	63.4	82.1	92.0	94.5	97.6	98.9
	\sim	H13. 3卒			24.3	39.5	48.3	56.4	71.7	83.7	91.8	96.0	96.6	98.1
1 /	県	H14. 3卒		_	15.5	32.8	39.2	51.1	61.9	77.0	86.0	92.4	92.6	96.6
1 /	内	H15. 3卒		_	② 14.5	30.4	38.6	51.2	61.9	77.0	89.2	92.3	93.3	96.7
	求職	H16. 3卒	_	_	15.8	31.8	39.9	55.2	65.3	82.9	91.4	94.3	97.4	98.7
	者	H17. 3卒	_	_	19.4	39.0	50.8	64.4	73.0	84.6	92.3	94.8	96.4	97.8
	の	H18. 3卒	_	_	23.4	43.5	52.1	67.6	74.7	87.6	93.2	95.6	97.7	98.1
	内 定	H19. 3卒	_	_	25.0	46.0	59.8	74.8	82.2	91.5	95.7	96.0	97.1	97.9
	座 率	H20. 3卒	_	_	26.6	53.9	62.9	78.8	85.2	93.3	96.5	97.5	97.8	98.0
	_	H21. 3卒	_	_	28.3	55.2	63.3	75.7	82.2	90.3	94.8	95.1	97.4	97.7
	(→)		_	_	18.2	43.2	51.1	66.3	74.4	86.7	92.8	93.1	96.9	98.4
	5	H22. 3卒						72.5			95.6	97.2		98.8
	/	H22. 3卒 H23. 3卒	_	_	25.1	48.8	58.7	12.5	79.0	90.4	30.0	31.Z	97.5	
	(3)		- 1	- 1	25.1 26.0	48.8 55.2		80.8		94.8	97.6	98.5	98.8	99.0
	/	H23. 3卒 H24. 3卒	_ 		26.0	55.2	65.3	80.8	87.6	94.8	97.6	98.5	98.8	99.0
	/	H23. 3卒 H24. 3卒 H25. 3卒			26.0 21.2	55.2 55.5	65.3 71.9	80.8 86.4	87.6 91.3	94.8 96.2	97.6 98.9	98.5 99.3	98.8 99.9	99.0 99.9
	/	H23. 3卒 H24. 3卒 H25. 3卒 H26. 3卒		_	26.0 21.2 21.6	55.2 55.5 61.5	65.3 71.9 76.8	80.8 86.4 89.0	87.6 91.3 92.9	94.8 96.2 97.3	97.6 98.9 98.7	98.5 99.3 99.3	98.8 99.9 99.8	99.0 99.9 99.9
	/	H23. 3卒 H24. 3卒 H25. 3卒 H26. 3卒 H27. 3卒	- - - - -	_	26.0 21.2 21.6 34.7	55.2 55.5 61.5 66.9	65.3 71.9 76.8 80.8	80.8 86.4 89.0 88.8	87.6 91.3 92.9 94.1	94.8 96.2 97.3 97.3	97.6 98.9 98.7 99.3	98.5 99.3 99.3 99.7	98.8 99.9 99.8 99.8	99.0 99.9 99.9 99.9
	/	H23. 3卒 H24. 3卒 H25. 3卒 H26. 3卒 H27. 3卒 H28. 3卒	- - - - -	_	26.0 21.2 21.6	55.2 55.5 61.5 66.9 73.3	65.3 71.9 76.8 80.8 83.2	80.8 86.4 89.0 88.8 89.9	87.6 91.3 92.9 94.1 93.9	94.8 96.2 97.3 97.3	97.6 98.9 98.7 99.3 99.3	98.5 99.3 99.3 99.7 99.8	98.8 99.9 99.8 99.8 99.9	99.0 99.9 99.9 99.9 99.9
	/	H23. 3卒 H24. 3卒 H25. 3卒 H26. 3卒 H27. 3卒	- - - - -	_	26.0 21.2 21.6 34.7 38.7	55.2 55.5 61.5 66.9	65.3 71.9 76.8 80.8	80.8 86.4 89.0 88.8	87.6 91.3 92.9 94.1	94.8 96.2 97.3 97.3	97.6 98.9 98.7 99.3	98.5 99.3 99.3 99.7	98.8 99.9 99.8 99.8	99.0 99.9 99.9 99.9

新規高等学校卒業者の求職・求人・就職の状況(安定所別)

〈平成30年3月卒業予定者〉

			宮 崎	延 岡	日向	都 城	日 南	高鍋	小 林	計
① 求職者数	<u></u>	H29. 9	948	412	227	521	153	151	149	2,561
		前年同月	1,010	410	267	554	157	182	165	2,745
,		差	-62	2	-40	-33	-4	-31	-16	-184
うち	県内	H29. 9	520	215	156	282	82	121	81	1,457
į		前年同月	525	239	165	301	71	138	84	1,523
;		差	-5	-24	-9	-19	11	-17	-3	-66
		割合	54.9%	52.2%	68.7%	54.1%	53.6%	80.1%	54.4%	56.9%
② 就職内定	E者数	H29. 9	511	259	152	268	73	83	88	1,434
		前年同月	513	294	161	318	86	69	90	1,531
		差	-2	-35	-9	-50	-13	14	-2	-97
¦ うち	原内	H29. 9	230	120	96	144	34	63	48	735
		前年同月	222	147	95	132	22	40	31	689
		差	8	-27	1	12	12	23	17	46
i		割合	45.0%	46.3%	63.2%	53.7%	46.6%	75.9%	54.5%	51.3%
③ 有効求職		H29. 9	437	153	75	253	80	68	61	1,127
1	-2	前年同月	497	116	106	236	71	113	75	1,214
,		差	-60	37	-31	17	9	-45	-14	-87
うち	原内	H29. 9	290	95	60	138	48	58	33	722
l :		前年同月	303	92	70	169	49	98	53	834
!		差	-13	3	-10	-31	-1	-40	-20	-112
④ 求人数		H29. 9	1,364	490	247	947	211	341	266	3,866
		前年同月	1,201	401	225	892	170	249	262	3,400
		比	13.6%	22.2%	9.8%	6.2%	24.1%	36.9%	1.5%	13.7%
⑤ 求人倍率		H29. 9	1.44	1.19	1.09	1.82	1.38	2.26	1.79	1.51
4)/①	前年同月	1.19	0.98	0.84	1.61	1.08	1.37	1.59	1.24
		差	0.25	0.21	0.25	0.21	0.30	0.89	0.20	0.27
	求職者	H29. 9	2.62	2.28	1.58	3.36	2.57	2.82	3.28	2.65
	対する 人倍率	前年同月	2.29	1.68	1.36	2.96	2.39	1.80	3.12	2.23
		差	0.33	0.60	0.22	0.40	0.18	1.02	0.16	0.42
⑥就職内定		H29. 9	53.9%	62.9%	67.0%	51.4%	47.7%	55.0%	59.1%	56.0%
2/(1)	前年同月	50.8%	71.7%	60.3%	57.4%	54.8%	37.9%	54.5%	55.8%
		差	3.1	-8.8	6.7	-6.0	-7.1	17.1	4.6	0.2
うち	原内	H29. 9	44.2%	55.8%	61.5%	51.1%	41.5%	52.1%	59.3%	50.4%
		前年同月	42.3%	61.5%	57.6%	43.9%	31.0%	29.0%	36.9%	45.2%
		差	1.9	-5.7	3.9	7.2	10.5	23.1	22.4	5.2
			宮崎	延岡	日向	都城	日南	高鍋	小林	計

*端数処理の関係で最下位の数値があわない場合がある。

≪ 参考 ≫ 新規高等学校卒業者の男女別求職の状況(安定所別)

〈平成30年3月卒業予定者〉

			宮崎	延岡	日向	都城	日南	高鍋	小林	計
①´求職者数 H29. 9		948	412	227	521	153	151	149	2,561	
	うち	男子	615	283	134	326	90	67	89	1604
	うちま	女子	333	129	93	195	63	84	60	957
	女子生徒の	占める割合	35.1%	31.3%	41.0%	37.4%	41.2%	55.6%	40.3%	37.4%

高鍋安定所管轄の高等学校

県立 西都商業高等学校 県立 高鍋高等学校

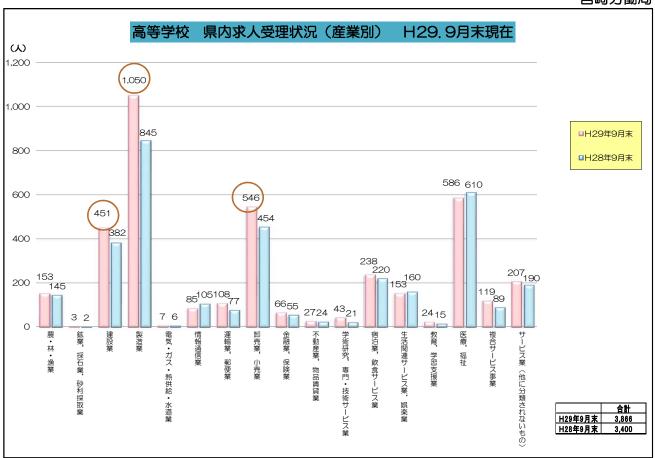
県立 高鍋農業高等学校

県立都農高等学校県立妻高等学校

県立 児湯るぴなす支援学校

平成30年3月高等学校卒業予定者に係る産業別求人状況 【平成29年9月末現在】

宮崎労働局



産業分類	H29年9月末	H28年9月末	対前年 増減率
農·林·漁業	153	145	5.5%
鉱業,採石業,砂利採取業	3	2	50.0%
建設業	451	382	18.1%
製造業	1050	845	24.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	7	6	16.7%
情報通信業	85	105	▲ 19.0%
運輸業, 郵便業	108	77	40.3%
卸売業, 小売業	546	454	20.3%
金融業, 保険業	66	55	20.0%
不動産業,物品賃貸業	27	24	12.5%
学術研究、専門・技術サービス業	43	21	104.8%
宿泊業, 飲食サービス業	238	220	8.2%
生活関連サービス業、娯楽業	153	160	▲ 4.4%
教育, 学習支援業	24	15	60.0%
医療,福祉	586	610	▲3.9%
複合サービス事業	119	89	33.7%
サービス業(他に分類されないもの)	207	190	8.9%
その他の産業	0	0	_
合計	3,866	3,400	13.7%

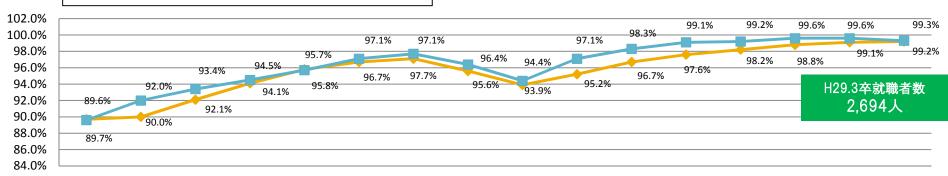
資料2-1

労働局(ハローワーク)の取組状況について

(*) 厚生労働省 宮崎労働局 職業安定部職業安定課雇用企画係

○ 雇用情勢の改善により、高校卒の就職内定率は高水準にあるが、<u>就職内定者のうち県内内定者の割合は、前</u>年度と比較し0.7%上昇し、56.8%となっている。

高校卒の就職内定率の時系列推移



H14.3卒 H15.3卒 H16.3卒 H17.3卒 H18.3卒 H19.3卒 H20.3卒 H21.3卒 H22.3卒 H23.3卒 H24.3卒 H25.3卒 H26.3卒 H27.3卒 H28.3卒 H29.3卒

──全国内定率

--- 宮崎県内定率

高校卒の就職内定者に占める県内内定者の割合

H29.3卒県内就職者数 1,531人



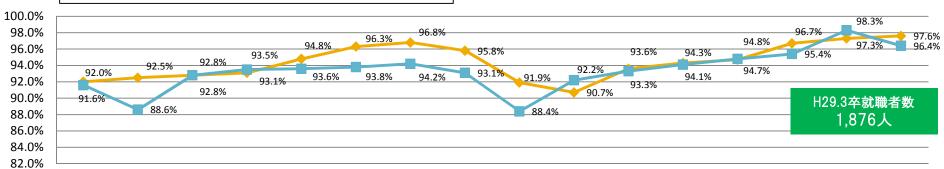
━━就職内定者に占める県内内定者の割合

(資料出所)厚生労働省・宮崎労働局集計

(注)当該内定率の算出における求職者数は、学校または公共職業安定所の紹介を希望する者の数(各年3月卒)であり、県が公表する学校基本調査とは異なります。

○ 雇用情勢の改善により、大学等卒の就職内定率は高水準にあるが、<u>就職内定者のうち県内内定者の割合は、</u> 前年度と比較し2.4%上昇し、48.2%となっている。

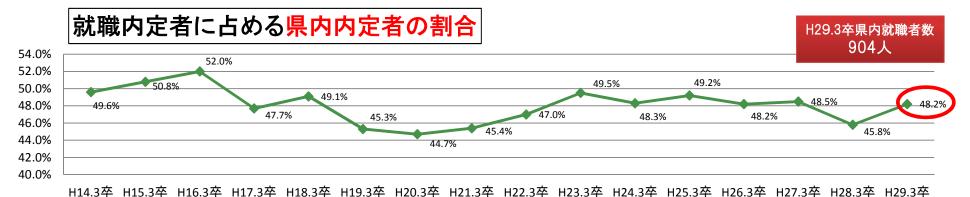
大学等卒の就職内定率の時系列推移



H14.3卒 H15.3卒 H16.3卒 H17.3卒 H18.3卒 H19.3卒 H20.3卒 H21.3卒 H22.3卒 H23.3卒 H24.3卒 H25.3卒 H26.3卒 H27.3卒 H28.3卒



━━宮崎県内定率

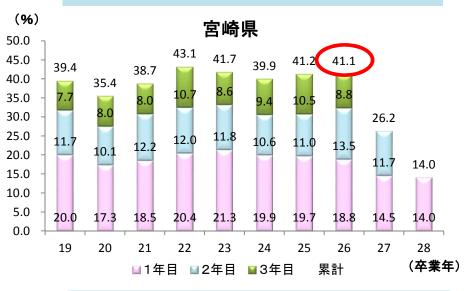


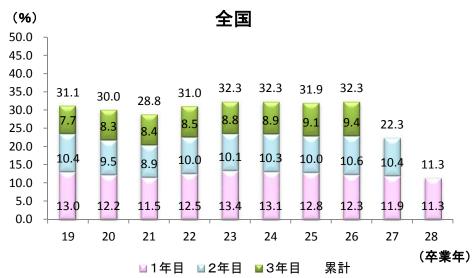
→ 就職内定者に占める県内内定者の割合

(資料出所)厚生労働省・宮崎労働局集計

(注)当該内定率の算出における求職者数は、学校または公共職業安定所の紹介を希望する者の数(各年3月卒)

新規大卒者の卒業後3年以内の離職率





新規高卒者の卒業後3年以内の離職率

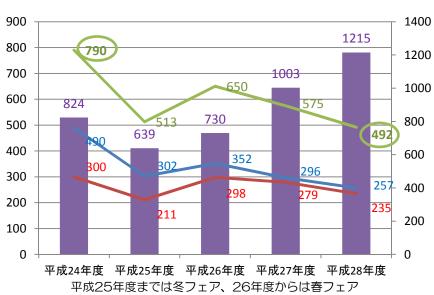




これきでの春の就職フェアの状況(参加企業数・求人数・学生来場者数等)

- (2) 厚生労働省宮崎労働局作成資料
- ・平成24年度より宮崎局にて開催され、平成28年度まで5回開催している。参加学生数の動向で見ると、24年度の参加学生数790人がもっとも多く、平成28年度の 参加 学生数492人を比較すると、37.7%の減少となっている。
- ・宮崎局の求人数については、これまで平成21年リーマンショック、平成22年口蹄疫、平成23年新燃岳噴火と厳しい状況化の時もあったが、近年おいては「売り手市場」と いうこともあり、平成28年度は1215人と高い推移となっている。しかし、学生来場者数については過去最低の492人であった。

■■県内求人数 ● 男性 ● 女性 ● 合計



		H24	H25	H26	H27	H28
参	加企業数	128	141	130	156	153
参	加学生数	790	513	650	575	492
	うち既卒者		33			23
ļ	就職者数	39	40	30	19	30
	在職中	0	4	9	9	2
	失業中	0	5	12	12	6
	新卒者	28	20	4	4	14
	既卒者	0	4	2	2	2
	職業訓練修了•中	0	3	2	2	6
	就業経験無	0	0	1	1	0
	上記以外	11	4	0	0	0

来所者数の減少

≪要因≫

- ·経済の回復
- · 少子化問題
- ・ 若年者の人手不足
- ・企業の早期内定

≪課題≫

- ・説明会・面接会への集客数
- ·企業のPRアップカ(魅せる)
- ・保護者等への周知強化
- ·学校との連携強化

≪黄佐≫

- ・早期からの就活体験
- 対象者の拡大
- ·企業主体のPR手法
- ・学生への意識つくり

≪現状≫

年々来場者が減少しているが、参加企業希望は高い。毎年3月は、各企画イ ベントが重複しており、日程調整が困難(マイナビ・リクナビ・各大学)。 これまで会場が離れているため、集客数にも影響がある可能性がある?

新しい面接会・説明会(企画・イベント)の見直し

【見直し案】

集客数を伸ばすためには、場所・時期(土日)を検討したいが、場所については、駅周辺会 場の空きがなく、土日開催は困難であるため、会場はこれまで通りシーガイアで行うが、対 象者を1~4年生及び保護者と早期における就職への意識づけを目的とし、同時に就活専 門の外部講師及び社会人1年生の先輩による講話を取り入れ身近に感じてもらう。

~メリット~

早い段階からの就職への関心、地元企業との関わり(インターンシップ)のきっかけとなる。

~デメリット~

春休みということもあり、1~2年生はバイト優先で、あまり集客が見込めないのでは、ま たどの程度就職に関して意識を持っているか?→早期からのキャンバス内での周知(学 校との協力が必須)

第4回 労働・雇用リテラシー講座(H29.10.26:宮崎大学にて実施)アンケート集計結果

問1 性別	男	40	女	6	無回	答 0		
問2 大学何年生?	1年生	18	2年生	21	3年生	6	無回答	1
問3 出身地はどこですか?	宮崎県	15	宮崎県	以外	31	無回答	0	

次年度卒業予定の大学生を主な対象とした企業説明会の改善策の提案

≪交通面について≫

- ・学科全体で送迎バスなどを用いて参加を募る
- ・車を持っていない人は駅周辺の交通費が高いため、外へ出る事を渋る人は多い
- ・シーガイアまでは遠いので送迎バスを出し開催地までの交通の便を図る

≪広報周知について≫

- ・学生が興味をひくような企画を立案し広告する
- ・情宣期間を長くし学内メール、教授からの呼びかけ、授業や昼休みを利用した主催側から学生への周知アプローチ

≪大学などとの連携等≫

- ・労働リテラシー講座の講義等の代わりに企業説明会に行く
- ・補講的な感じで授業の一環として取り入れる

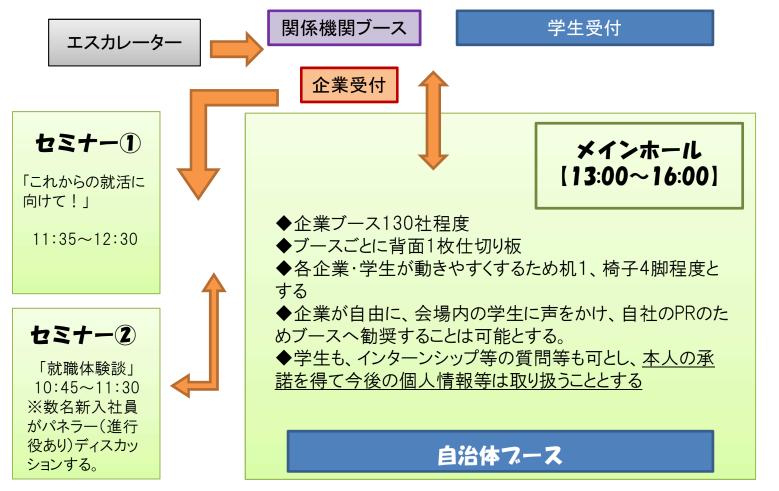
≪その他≫

・面談形式ではなく、フリーな感じの方がブースに行きやすい(企業も学生も気軽に声をかけやすい環境)

〇県内就職促進を優先的に考え、集客数の増加・参加者及び参加企業の満足度の向上を目標に、新たな企画立案を 組み立てる。

	現在	2018年春フェア(案)	相乗効果
開催場所	フェニックスリゾートシーガイア ワールドコンベンションセンター4F	フェニックスリゾートシーガイア ワールドコンベンションセンター4F	宮崎駅(大学経由)、南駅より送迎バス を発着させることで、これまでの不便で あった理由の一つを解消
参加企業	県内に就業場所がある企業(100~150社)	若者応援宣言企業、ユースエール、くるみん等認定企業を中心に、若者雇用に積極的な企業や「魅せる」能力の高い企業等を中心に呼びかける。【130社程度】	ブースで待機する形から、企業から学生等に声をかけ自社のPRを行うことで、 多くの学生が多種多様の企業発見を 体感できる。
参加者	卒業年次の大学等1年生、4年生及び既卒3 年以内、一般求職者、職業訓練受講生	大学等1年~4年生、一般求職者(既卒3年以内)、 職業訓練受講生、保護者	1年生の早期段階から、企業の実態を 知り、就職のイメージを定着させことで、 今後の学生生活と就活、将来のライフ ワークバランスの意識づけが出来る。
フェア内容	学生及び求職者と企業との面談会のみ (13時開始 16時30分終了)	ブース形式による企業PR(学生の企業情報収集)、 セミナー「これから約立つ就活情報」、先輩の体験談 「地元企業への就職」について等	双方がコンタクトを取る形式で、リラックスした雰囲気を作ることができ距離が縮む。また、セミナーを挟み受講した学生の士気向上へ繋がる。
受付方法	学生は受付のプロフィールカードを記載し(複写4社分)、各企業ブースへ提出し企業担当者と面談形式で説明を受ける	受付(氏名、学校名、住所等)を行い、自由にブース、セミナー等へ自主的に参加してもらう。	プロフィールカードによる形式的な面談 よりも、気になる企業ブースへ直接立ち 寄る形式に変更することで、より多くの 企業の情報収集を行うことができる。
その他	新卒応援ハローワークコーナー、社会福祉協 議会コーナー、自衛隊コーナー、自治体情報 発信掲示版、参加企業リーフレットコーナー	各就職支援コーナーの他に、自治体ブースを設ける。	各自治体の人材確保や地域創生への企業PRを参加企業と共にPRし、宮崎県全体での県内就職促進の活性化を図ることができる。

◆参加企業の募集に関しては、宮崎労局HPより申し込むことにしているが、事前に新聞・CM・ハローワーク・県・市の広報誌等で幅広く周知し、学生等へはハローワークを通じ、各学校の学生支援課や保護者等へ参加の周知を呼びかける。



階段

企業控え室

スタッフ 控え室

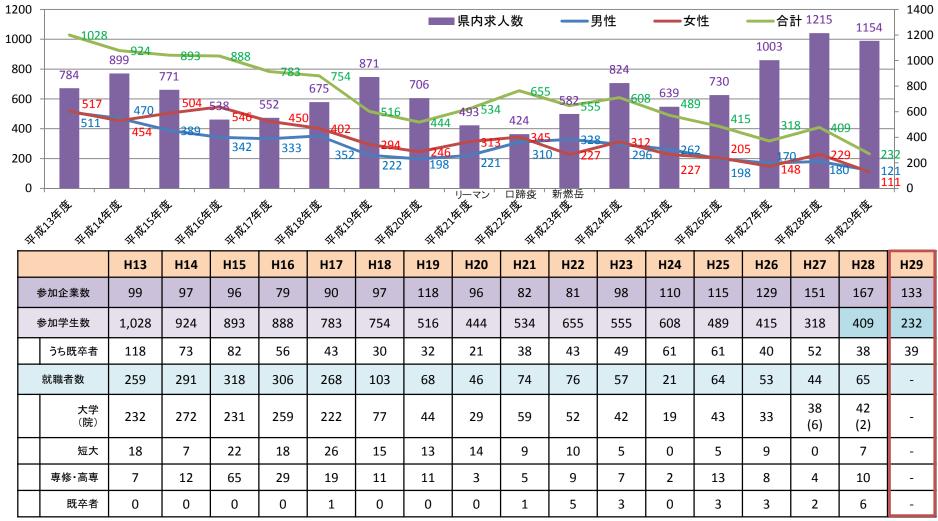
バス送迎 時刻表



行	き	帰り			
宮崎駅発(東口)	シーガイア着	シーガイア発	宮崎駅着(東口)		
10:00	10:30	15:00	16:00(大学経由)		
12:30	13:00	16:30	17:00		

◆行き(大学経由1便):宮崎大学発9:30~宮崎国際大~産経大~シーガイア着10:30

- 平成13年度より実施され、平成29年度まで17回開催している。参加学生数の動向で見ると、13年度の参加学生数1.028人がもっとも多く、平成29年度の 参加学生数232人を比較すると、77.4%の減少となっている。
- 宮崎局の求人数については、これまで平成21年リーマンショック、平成22年口蹄疫、平成23年新燃岳噴火と厳しい状況化の時もあったが、近年おいては 「売り手市場」ということもあり、平成29年度は1154人と高い推移となっている。しかし、学生来場者数については過去最低の232人であった。



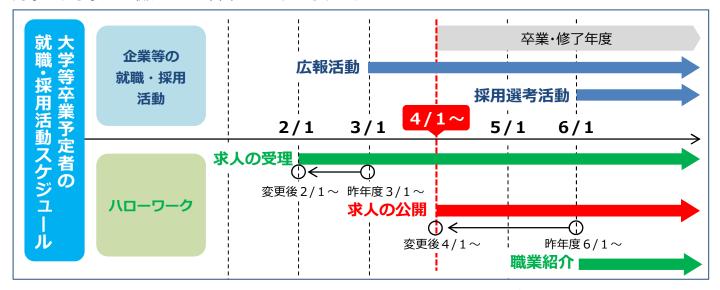
大学等卒業予定者の採用をお考えの事業主の皆さま 大学等卒業予定者の皆さま

ハローワークからのお知らせです。

平成30年度の大学等卒業予定者を対象と した求人公開日は4月1日です!

- ※ 求人公開日が昨年度の6月1日から4月1日に変更となりました。
- ※ これに伴い、求人の受理が昨年度の3月1日から2月1日に変更されます。

大学、短期大学と高等専門学校の平成30年度(平成31年3月)卒業・修了予定者の就職・採用活動のスケジュールを踏まえ、ハローワークでの卒業・修了予定者(大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等)を対象とする求人の取扱いは、下図のとおりになります。



求人公開の時期を早めることで、学生の皆様は十分な業界研究を行うことが可能となるほか、 企業の皆様も学生への広報活動を有効に行うことが可能となりますので、ぜひご活用ください。 なお、求人公開後であっても5月31日以前に採用選考活動を行うことのないようご注意ください。

「新卒応援八ローワーク」における就職支援について

新卒応援ハローワークでは、大学等卒業予定者や大学等の学校を卒業した方を対象に、 各学校との連携の下、ジョブサポーター(※)によるきめ細かな支援など、様々なサービスを 行っています。お気軽にご利用ください。

(※) 新卒者の就職支援を専門とする職業相談員。企業の人事労務管理経験者などを採用しています。

「新卒応援八ローワーク」の支援メニュー(ご利用はすべて無料です)

- 全国のネットワークによる豊富な求人情報の提供・職業紹介・中小企業とのマッチング
- 職業適性検査や求職活動に役立つ各種ガイダンス・セミナーなどの実施
- 担当者制の個別支援(定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、 エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など)
- 臨床心理士による心理的サポート
- 求職者の希望を踏まえた個別求人の開拓 なる





宮崎県の取組について (UIJターン・インターンシップ・高校生対象事業)について

宮崎県商工観光労働部 雇用労働政策課

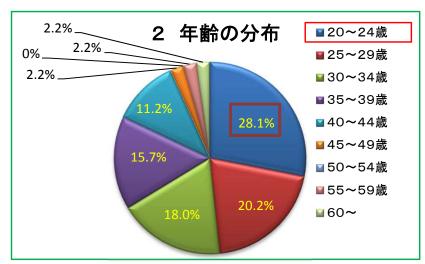
○宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターの概要

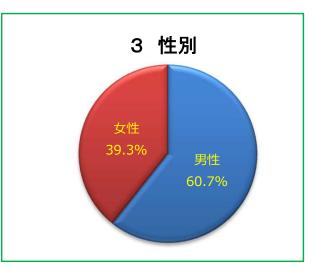
平成27年4月に宮崎(本部)と東京(支部)に開設し、それぞれ就職支援相談員(宮崎2名、東京1名)と移住相談員(宮崎2名、東京1名)を配置し、仕事と住まいの相談にワンストップで対応。

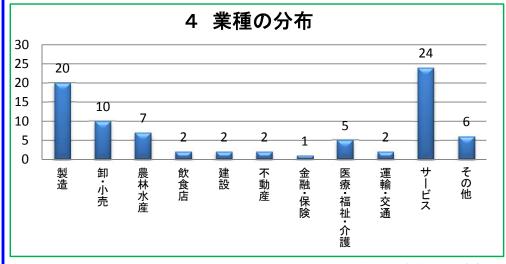
平成28年度の実績

就職決定者数 89名











※ 人材バンク経由以外で決定した者のうちに就職先が不明な者もいるため、合計の値が一致しない。

【目的】県内大学生の約5割が県外に就職している現状を踏まえ、大学生等に県内中小企業等の魅力を理解してもらうとともに、大学生等の県内就職の促進を図ることを目的とする。

平成28年度実施結果

- ○県外の学生を含む132名が、44社の企業でインターンシップを実施した。
- ○うち、県内の学生は、122名が、42社の企業でインターンシップを実施した。(内訳:大学5校、短期大学2校、専修・専門学校1校)

○参加学生からの主な声

【肯定的な主な意見】

- ・実際に働いてみることで企業の雰囲気や仕事を知ることができた。
- ・実習企業の方々の対応がすごくよく、実習は大変だったが、この企業の実態を深く知ることができた。

【否定的な主な意見】

- ・社員同様の仕事をさせられ、もう少し学びの場を与えてほしかった。
- ・2人で参加したが、体験できる内容が異なるなど、配慮が足りなかった。 "お手伝い"という感じであまり印象に残らなかった。

○学生を受け入れた企業の主な声

【肯定的な主な意見】

・学生さんの弊社に対する意識が高く、充実した研修になったのではないかと 思った。学生さんの学ぼうという姿勢を持っての取組は実りが大きいと感じる。

【受入に当たっての課題・問題点について(複数回答)】

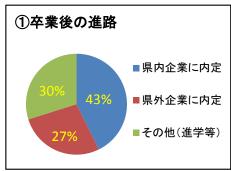
- ・「受入のための人的・時間的負担 59.0%(23社)」
- ・「就業体験部署、体験内容の設定 38.5%(15社)」

【受入に当たっての取組について(複数回答)】

・「全社的なインターンシップ受入体制の整備、受入担当者の配備61.5%(24社)」

■ 平成27年度県内企業インターンシップ参加者 就職状況調査結果 ■

(調査対象者(※参加当時大学3年生等)数:124名)



②内定者に占める県内・県外の割合

	人数	割合
県内企業内定者	53	60.9%
県外企業内定者	34	39.1%
内定者合計	87	100%

※「その他(37名)」の内訳就職先不明 2名進学・留学 21名その他(休学・退学等) 14名

【参加者の県内就職率】県内企業への就職者は、就職者全体の60.9%となり、同じ世代(平成29年3月卒)の全体の県内就職率44.3%(県産業政策課調べ)と比較すると、16.6ポイント高い結果となった。

平成29年度実施状況





インターンシップを受け入れる県内企業と参加を希望する学生のマッチングを行うシステム「みやざきインターンシップNAVI」を平成29年3月から運用開始。

【ポイント】

- ・ウェブ上で登録・マッチング(スマホからもアクセス可能)。
- ·年間募集により学生·企業が希望する時期にインターンシップが実施可能。
- ・チャット機能、専門コーディネーターによりきめ細かにマッチングをサポート。

【マッチング状況】※平成29年9月末時点

- ・マッチング件数 142件(※まだ実施されていない分も含む)
- ・マッチング学生数(実数) 102人(県内83人、県外19人)
- ・マッチング企業数(実数) 39社

平成29年度高校生対象事業について(宮崎県)



〇高校生等企業ガイダンス

【内容】 高校2年生とその保護者及び教員を対象とした県内企業の魅力を伝える企業説明会を開催する。

【概要】

	地区	県北地区	県央地区	県西地区	
ĺ	月 日 2月14日(水)		2月9日(金)	2月2日(金)	
	場 所 延岡市民体育館		宮崎市総合体育館	都城早水体育文化センター	
	企業数 67社		113社	74社	
	対象地域 (参加校)	延岡市·日向市 高千穂町·門川町	宮崎市・西都市・日南市 串間市・国富町・高鍋町 都農町	都城市・小林市 えびの市・三股町	

★当日の流れ

12:30~受付 13:00開場

13:20~15:30(企業説明会 1回20分の説明会4回+フリータイム15分)

〇「宮崎県企業PR動画」制作

【内容】

・高校生等の若者に対し、職場の様子や社員へのインタビューなどを通して、企業の概要・魅力等をPRする動画(1社3分程度)を制作。

【概要】

·制作企業数:100社

・配布先等:県内全高校へのDVD配布、その他、県が運営するウェブサイトでの配信を予定。

·完成予定:平成30年2月末

・受託先:株式会社エムアイビーテレビ

○宮崎県内就職・進学体験フェア「○○(まるまる)ごっこ2017」

【内容】

・県内大学や専門学校、県内企業・業界団体が一堂に会し、高校1年生 や保護者、教職員を対象に、進路選択における県内の様々な選択肢を 紹介する交流フェアを開催する。

【概要】

- ·日 時 12月19日(火)10:00~16:00
- ・場 所 シーガイアコンベンションセンターサミットホール
- · 対象者 高校1年生 2000名程度 保護者、教職員 各100名程度
- ·出展者 県内企業·団体 50団体 県内大学、短大、専門学校 32校
- ・内 容 出展者の特色を活かした様々な「ブース体験」 (25分)を最大4回体験してもらう。
- ・受託先 株式会社UMKエージェンシー

【高校向け配布チラシ】



◆ 高校・企業ワークショップ ◆

第1回 場 所 県内4会場(小林、延岡、宮崎、都城) 月 日 7月10日(月)~19日(水) 参加数 学校関係者 51名 企業関係者 66名 第2回 高校生等企業ガイダンス(2月開催)と同日同会場で開催予定

- ◆ 企業見学会·企業説明会 (生徒·教員·保護者対象)◆
- ①企業見学会 小林西 聖心ウルスラ 宮崎日本大学
- ②校内企業説明会 都城東 延岡学園
- ③就職セミナー 都城東 都城聖ドミニコ学園
- ④保護者向けセミナー 延岡学園

○宮崎版デュアルシステム人財育成モデル事業

◆ものづくり分野◆

- ① ものづくり企業現場体感塾: 県内企業の技術力・魅力についての講義や、企業 見学を実施する。【対象校】日向工業 都城工業 小林秀峰 日南振徳
- ② 次世代企業人財協働実践プログラム

技術分野	対象学校	参加企業(予定)
溶接技術	日向工業	(株)アキタ製作所(日向市)
ロボット技術	延岡工業 宮崎工業 佐土原 都城工業 小林秀峰	(株)シーディエヌ(宮崎市)

◆ ICT分野 ◆

- ① ICT技術体感塾: 走行体を動かすのに必要なシステム開発を行う。 【対象校】 宮崎工業 佐土原(予定)【講師】(株)サージェック等・
- ② 次世代企業人財協働実践プログラム:フォトショップを使ったWebサ小製作を行う。 【対象校】延岡工業 佐土原 都城工業 【指導企業】(株)宮崎県ソフトウェアセンター

◆ 商業分野 ◆

商品開発や販路拡大等について県内企業と高校が連携し、実践的な活動を展開する。商業系高校等8校で実施。

【実施校】延岡商業·富島·宮崎商業·西都商業·都城商業·日南振徳·福島·宮崎学園

平成29年度大学生等及び一般求職者対象事業について(宮崎県)

〇宮崎県ふるさと就職説明会

【内容】

・人材を求める県内企業と、UIターン就職希望者や新規大学等卒業予定者との 出会いの場として、東京・大阪・福岡で就職説明会を開催。

【概要】

H29	実績	東京会場	大阪会場	福岡会場	計
日	時	4月30日(日)	4月9日(日)	4月23日(日)	_
場	所	カーテブンシティ渋谷	大阪駅前第3ビル	天神ビル	_
企	業 数	38社	2 1 社	5 2 社	111社
参加	旧者数	64人	19人	74人	157人

(相談コーナー)

ハローワーク、ヤングJOBサポートみやざき、宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター 県人事委員会事務局、県警察本部、県農業振興公社 計6ブース

〇九州・山口しごとフェスタ ~合同会社説明会~

【概 要】

- ·日 時:平成30年2月21日(水) 13:00~19:00
- ・場 所:池袋サンシャインシティ
- ・対象者:2018年、2019年卒業予定の新卒者 40歳未満のUUターン就職希望者
- ·参加企業:九州·山口各県の120社程度(各県15社程度)
- · 主 催: 九州·山口UIJターン若者就職促進協議会 (九州·山口8県で構成)
- ・その他: 各県の就農、移住定住に関する相談ブースも出展予定

O ワクワクWORK! 宮崎2017

【内容】

・県内企業の魅力を発信する企業ガイドブック「ワクワクWORK! 宮崎2017」を作成・配布。県内企業200社を掲載。

WORK!宮崎

【概要】

- ·発行年月 平成29年3月
- ·発行部数 4.500部
- ・配布先 県内の高等学校、県内外の大学、

就職支援機関等

1. 職業系高校を中心に県内企業見学を実施

- ・定時制を含む23校で実施
- ・全学年対象(実施する学年は各校で決定)
- ・保護者を対象として実施する学校も支援

2. 就職支援エリアコーディネーターの配置

・県内8エリアを6名でカバー

エリア	拠点校	カバー校
高千穂・延岡・	延岡商業	高千穂、延岡工業、延岡青朋、門川
門川		
日向	西都商業	富島、日向工業
西都		妻
都農・高鍋	高鍋農業	都農、高鍋
宮崎	宮崎商業	佐土原、本庄、宮崎東、宮崎海洋
日南・串間	日南振徳	宮崎工業、宮崎農業、福島
都城	都城商業	都城工業、都城農業、高城
小林・えびの		小林秀峰、飯野

- ・求人開拓、既卒者(就業者)との面談、離職者情報の収集、 生徒の面接指導の支援等を行う
- ・エリアネットワーク会議を各エリアで年2回開催(5月・10月) 県内就職に関する情報交換や課題共有の場としている

出会者: 県担当課、各校の進路指導主事、地元企業、地元市町村 の担当者等

10月の出会者計(全エリアの総計):174名

3. 宮崎労働局と連携した取組(労働法等の講習会実施)

- ・職業系高校 21 校で実施
- ・2、3年生対象(実施する学年は各校で決定)
- ・3,280 名が受講予定

4. ライフプランナーによる将来設計講座の実施

- ・希望校9校で実施
- ・全学年対象 (実施する学年は各校で決定)
- ・1,887 名が受講予定

5. みやざきテクノフェア(県工業会主催)と同時に工業教育フェア (県立工業高校主催)を開催

日付:平成29年11月22日(水)・23日(木・祝)

場所:宮崎県体育館

内容:工業技術発表会、作品展示・体験、ワークショップ、 ロボット競技等

- ・工業教育フェアとは別に特別支援学校がチャレンジ検定等の デモンストレーションを行う
- ・県立工業高校の生徒・教職員約600名が参加
- ・市内の中学校3校も参加

※ 来年度に向けて



関係機関における、H30年度取組 「さあ、みやざきで働こう」・「夢、実現。」STOP早期離職!



(*) 厚生労働省 宮崎労働局 職業安定部雇用企画係





◆ <u>『さあ、みやざきで働こう!</u>』

キーワード9つの項目 H29年度の取組状況 ※朱書きは、追記(リバイス) H30年度における取組対策(案)					
新規学卒者の就職をす	支援する関係機関(者)に向けて	※青字は、新規事業等			
① 意識する	【宮崎県】 ①高校1年生対象「宮崎県内就職・進学体験フェア」の開催 ②高校2年生対象「高校生等企業ガイダンス」を昨年は県央地区1カ所の開催したが、他地域企業の参加が難しいため、県内3地区程度に分けて実施(2月)。 ③高校企業座談会に加え、保護者向けのセミナー等を開催。 ④県外の大学とUIJターン就職支援協定を締結する。 【教育委員会】 ・学校、ハローワーク、産業関係団体とのネットワーク強化を目指す。 【労働局】	【教育委員会】 ・学校、ハローワーク、産業関係団体とのネットワーク強化を目指す。 【労働局】 ・求人受理説明会後、企業との意見交換(名刺交換会)の開催(学校が企業を知ることができる機会の場として見直し)			
② 見せる	 ・求人受理説明会後、企業との意見交換(名刺交換会)の開催 【宮崎県】 ① 県内企業紹介冊子「ワクワクWORK!宮崎2017」を増刷し県内大学等に配布。 ② 高校生向け「新しい働き方@みやざき」発刊 ③ 県内企業100社のPR動画(3分程度)を制作し、DVDにまとめて県内全高校へ配布する。 ・市町村、利用者からの要望に応じ、内容の更新を随時行う。(中山間・地域政策課) 【労働局) ・若者雇用促進総合サイトの周知と地元企業情報の「見える化」の強化を図る。 【宮崎市】 ・マガジン版「20do」配布、チラシ「20do」の配布 ・「20do企業図鑑」で地元企業情報掲載 	【労働局) ・若者雇用促進総合サイトの周知と「ユースエール認定企業」の情報提供の強化を図る。			
③ つなぐ、つながる	【宮崎県】 ① 九州、山口UIJターン就職フェア、共同インターンシップの開催 ② 引き続き、ふるさと就職説明会の開催、宮崎県就職説明会を開催 【教育委員会】 ・県内8エリアを6人の就職支援エリアコーディネーターでカバーし、 各エリア毎に年2回のエリアネットワーク会議を開催。	【教育委員会】 ・県内8エリアを6人の就職支援エリアコーディネーターでカバーし、各エリア毎に年2回のエリアネットワーク会議を開催。(就職支援エリアコーディネーターを置く学校(拠点校))の変更を検討中。			



『さあ、みやざきで働こう!』

キーワードタつの項目

H29年度の取組状況

※朱書きは、追記(リバイス)

H30年度における取組対策(案)

新規学卒者の就職を支援する関係機関(者)に向けて

※青字は、新規事業等

(3) つなぐ、つなが る

【労働局】

- ・ 高校3年生対象応募前企業説明会(4か所)
- ・未内定者向けのマッチングミニ面接会(各ハローワーク)、若者対象面接 会(労働局委託事業12月開催予定)

【連合宮崎】

- 各団体との連携強化を図り、セミナー等のチラシを配布しPRに努める。 【商工会連合会】
- ・H28「見る、知る、体験する!」県内企業理解推進事業エリアネット ワーク会議への参加

【宮崎市】

「20do企業図鑑」でインターンシップマッチングを実施

【宮崎労働局】

- ・ 高校3年生対象応募前企業説明会(4か所)
- ・未内定者向けのマッチングミニ面接会(各ハローワー ク)、若者対象面接会(労働局委託事業12月開催予 定)

【連合宮崎】

各団体との連携強化を図り、セミナー等のチラシを配 布しPRに努める

【商工会連合会】

H30「見る、知る、体験する」エリアネットワーク 会議への参加

11 生徒・学生に向けて

考える **(4**)

【宮崎県】

- ① 「新社会人労働働くハンドブック」

 に早期退職デメリットの内容を加え、 を県内高校へ配付
- ② 委託訓練(公共)内での職業意識向上の講座及びジョブカードの周知
- ③ 「みやざきインターンシップNAVI」を活用したインターンシップの実 施

【教育委員会】

- ・ 労働局と連携し、職業学科系高校へ向けた労働法等の講座を実施
- ・ 職業学科系高校を中心に、県内企業見学を実施
- ライフプランナーによる将来設計講座を実施(希望校)

【連合宮崎】

・労働法制の改正等をタイムリーに学習できるよう関係機関との更なる連携 を行う。

【商工会議所連合会】

インターンシップの実施を予定

【宮崎市】

- 「20do座談会」の実施。20doで配信するワークライフ情報の検討と取 材を市内在住の20代と実施。
- ・宮崎西、宮崎商業高校へのワークライフプロモーション出張講座の実施。

【宮崎県】

② 委託訓練(公共)内での職業意識向上の講座及び ジョブカードの周知

【教育委員会】

- ・ 労働局と連携し、職業学科系高校へ向けた労働法等の 講座を実施
- 職業学科系高校を中心に、県内企業見学を実施
- ライフプランナーによる将来設計講座を実施(希望) 校)

(労働法等の講座については、対象校を検討中)

【連合宮崎】

「労働・雇用リテラシー講座」の開講

【商工会議所連合会】

インターンシップの実施を予定



<u>『さあ、みやざきで働こう!</u>』

<u> </u>						
キーワード9つの項目	H29年度の取組状況 ※朱書きは、追記(リバイス)	H30年度における取組対策(案)				
11 生徒・学生に向けて		※青字は、新規事業等				
⑤ 安心できる	【宮崎県】 ① JOBパーク+内の連携 ② 宮崎県ふるさと就職説明会(県外3会場)の開催(一般、学生) ③県内に就職する若者に対する奨学金返還支援を県内企業とともに実施(事業期間:平成29年度~平成36年度) (産業政策課) 【労働局】 ・窓口やセミナー等を通じ、安心して利用できるハローワークの周知強化を図る。 ・中退者向けリーフレットの充実を図るための改訂予定 【商工会議所連合会】 ・引き続き、若年者地域連携事業における各種支援の実施*事業主に対する啓発広告、管理者セミナー等*若者(フリーター)へ向けたマナーセミナー、啓発セミナー等 【連合宮崎】 ・「連合宮崎なんでも労働相談ダイヤル」の強化*県北、県西地区の地協事務所において労働相談ダイヤルを常設。 ・年3回の連合全国一斉キャンペーン*47地方連合会で行っており、相談体制を強化。	【労働局】 ・窓口やセミナー等を通じ、安心して利用できるハローワークの周知強化を図る。 ・中退者向けリーフレットの充実を図るための改訂予定 【商工会議所連合会】 ・若年者地域連携事業における各種支援の実施に向け精査していく ・事業主に対する啓発広告、管理者セミナー等 ・若者(フリーター)へ向けたマナーセミナー、啓発セミナー等 【連合宮崎】 ・「連合宮崎なんでも労働相談ダイヤル」の強化 ・県北、県西地区の地協事務所において労働相談ダイヤルを常設。 ・年3回の連合全国一斉キャンペーン ・47地方連合会で行っており、相談体制を強化。				
Ⅲ 保護者に向けて						
⑥理解する	【宮崎県】 ① 高校生・教職員向けに加え、保護者に対して県内企業情報を提供する。 【労働局】 ・高校生の保護者に対し、県内高卒求人状況の発信「通信」を作成し、全ての高校2・3年生の保護者に向け発信 ・PTAを通じた保護者向けの労働市場等セミナー及び将来設計(県外との比較)講話の開催(県内外就職・Uターン卒業生の講話も含む) 【教育委員会】 ・保護者を対象とした県内企業見学を実施 【宮崎市】	【労働局】 ・高校生の保護者に対し、県内高卒求人状況の発信「通信」を作成し、全ての高校2・3年生の保護者に向け発信・PTAを通じた保護者向けの労働市場等セミナー及び将来設計(県外との比較)講話の開催(県内外就職・Uターン卒業生の講話も含む) 【教育委員会】 ・保護者を対象とした県内企業見学を実施				

キャリアデザイン・就活力向上セミナー、オフィスツアーなどを

親世代、大学生等に実施予定。



『さあ、みやざきで働こう!』

キーワード9つの項目	H29年度の取組状況 ※朱書きは、追記(リバイス)	H30年度の取組対策(案)			
IV 地元企業・事業主に向	けて	※青字は、新規事業等			
⑦ 成長する	【宮崎県】 ① 社会的に長時間労働が問題視されているため、働きやすい職場環境づくりのためのセミナーのを実施を検討。 ② インターンシップ推進事業によるセミナーの実施 ② 県内企業のPRカ・採用力強化に向けたセミナーの実施 ③ 人材育成事業におけるセミナーやコンサルティングを実施・「ひなたMBA」においては、昨年度の受講者を対象としたステップアッププログラムやeラーニングの導入など内容充実を図る。(産業政策課) 【労働局】 ・企業へ向けた若者雇用促進法及び人材育成等における助成金活用等について、積極的にセミナーや説明会での周知を図る。・若者応援宣言企業及びユースエール認定企業への積極的な勧奨に取り組む。 【宮崎市】 ・国が支援する実践型地域雇用創造事業において設立した「宮崎市『夢。創造』協議会」の開催する各種セミナーを通じて、市内事業主向けに、採用力や情報発信力等の向上を図る。	【宮崎県】 ④「ひなたMBA」のおいては、産業界や大学等と連携し、内容充実を図るとともに、一定程度の複数のプログラムを修了した者を対象とした資格認定制度の創設を検討。(産業政策課) 【労働局】 ・企業へ向けた若者雇用促進法及び人材育成等における助成金活用等について、積極的にセミナーや説明会での周知を図る。 ・ユースエール認定企業への積極的な勧奨に取り組む。			
⑧ 伝える	【宮崎県・教育委員会・労働局】 ・新規学卒者のための早期求人提出要請を各関係機関と連携し、経済団体等へ要請 【労働局】 ・各就職イベント等について、できる限り多くの基礎自治体や企業団体と連携を図り、各機関等の広報等の協力を行う	【宮崎県・教育委員会・労働局】 ① 左記に同じ 【労働局】 ・各就職イベント等について、できる限り多くの基礎自治体 や企業団体と連携を図り、各機関等の広報等の協力を行う			
V 地域の雇用面での魅力向	上に向けて				
⑨ ものづくり	【宮崎県】 ① 若者(高校)を対象にした、ものづくり、ICT分野における体感塾、実践プログラムを実施 ② 小学校から大学までを対象に実技指導、職場体験等の機会の提供 ③ 若者層の求職者を中心に、フードビジネスや成長産業4分野の就業体験や実践プログラムを実施 【教育委員会】 ・みやざきテクノフェア開催と同時に工業教育フェアを開催	【宮崎県】 ② 小中学生を対象にものづくり体験やものづくりに関する講話、高校生や大学生等を対象に実技指導の機会の提供 4			

5



◆ 『夢 実現。』SIUP早期離職!					
7つの項目	H29年度の取組状況	※朱書きは、追記(リバイス)	H30年度における取組対策(案)		
就職準備段階			※青字は、新規事業等		
① 企業・仕事を知る機会の提供	業の参加拡大とマッチング率の点の 多加拡大とマッチを加学生の 多通じて自己分析を行うために、 ④大学生が県内企業の課題解と を通じて自己分析を実の課題解と、 を通じて自己分析を実の課題解と、 を通じて見体的の課題を 大学と連携して見る。 で学校のはのようでは ・保護者を ・ののと ・企業を ・なると ・なると ・なると ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	ーンシップシステムの活用により、学生と企 別上を図る。 の目的意識を高めるとともに事後の振り返り 事前と事後の研修会を実施。 等に取り組む1か月インターンシップや、県 ネスプランを作成し、学生のベンチャーマイコンテスト等を実施。(産業政策課) 認定企業への積極的な勧奨 援宣言企業及び県内求人状況の定期的な周知 がな発信) イフバランス等のセミナー(講話)の開催 企業で働く方を講師として、宮崎県の魅力や ディネート科目を実施。(産業政策課) る地域の課題を公募し、学生が課題解決に向 を業研究事業を実施。(産業政策課) るとまナーを実施。(産業政策課) るとまナーを実施。(産業政策課) るとまナーを実施。(産業政策課) るとまナーを実施。(産業政策課) のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のとまナーを実施。(産業政策課) のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の魅力発見や自分らしい働き方 のは、宮崎県の、田田で、宮崎県の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アンターンシップ情報の配信。中学生を のは、アント「ゆめパーク」の実施。親世代を対象	【宮崎県】 ⑤サポステによるジョブトレーニングの実施 【労働局】 ・ユースエール認定企業への積極的な勧奨 ・保護者、学校へ向けた若者応援宣言企業及び県内求人 状況の定期的な周知(保護者・学校向け通信の定期的な 発信) ・保護者向けの労働市場及びライフバランス等のセミナー(講話)の開催		
② 働く環境やルールについて学ぶ機会の提供	【宮崎県】①「新社会人労働働くハンドブッ【教育委員会】・ライフプランナーによる将来談	段計講座を実施(希望校)	【教育委員会】 ・ライフプランナーによる将来設計講座を実施(希望校) ・労働局と連携し、職業学科系高校へ向けた労働法等の講座を実施		
	・労働局と連携し、職業学科系高 【労働局】・労働法の講座を教育委員会と協 ・労働法の講座を教育委員会と協	高校へ向けた労働法等の講座を実施 協力し継続	【労働局】 ・労働法の講座を教育委員会と協力し継続 ・講話内容をUターンに関して盛り込み、進学校等への周		

知予定

・講話内容をUターンに関して盛り込み、進学校等への周知予定

※青字は、新規事業等



『夢 実現。』STOP早期離職!

7つの項目

就職活動段階 【労働局】 マッチング支援 (3)・新卒応援ハローワークによる個別支援の強化及び定期的な説明 会、而接会の開催(保護者含む) • 学校と連携した計画的な出張相談及び労働法令や各種セミナー の実施 ・ 就職フェアとセミナーを同時に開催 【宮崎県】 ① ジョブカフェの個別支援 ② ふるさと就職説明会(4月開催:一般、学生) ※東京、大阪、福岡の3会場 ③ 宮崎県就職説明会(8月開催予定:一般、未内定者の学生) 【宮崎市】 ・宮崎市『夢。創造』協議会で就職面談等を実施予定。対象は一 般求職者。 川就職後 職場定着のための 【労働局】 ・引き続き定着支援を実施(状況調査、退職する前の個別相談) 相談体制の整備 •フリーター等非正規雇用労働者に対する正社員就職支援 【宮崎県】 ① 雇用管理改善に着手したいが相談機関・方法等がわからない 中小企業に対し、多様な働き方や雇用管理改善についてアドバイ スできる、労務管理等に専門の知識を持つ専門講師の派遣を検討。 ②中小企業の若手社員定着に向けた取組を支援する窓口を設置し、 企業訪問による助言・支援を行うとともに、必要に応じて専門家 派遣を行う。 また、新入社員等を対象とした集合型研修を実施する。 【教育委員会】 ・企業訪問による、既卒者との面談を実施予定。 【商工会連合会】 ・新入社員、若手職員を対象にしたビジネスマナー等セミナー研修 【宮崎市】 青少年プラザで産業カウンセラーによる相談「こころナビゲー

ション」を実施。

【労働局】

H29年度の取組状況 ※朱書きは、追記(リバイス) H30年度における取組対策(案)

- 新卒応援ハローワークによる個別支援の強化及び定期的な説明 会、面接会の開催(保護者含む)
- ・学校と連携した計画的な出張相談及び労働法令や各種セミナー の実施
- ・就職フェアとセミナーを同時に開催

【宮崎県】

- ① ジョブカフェの個別支援
- ② ふるさと就職説明会(4月開催:一般、学生)
- ※東京、大阪、福岡、熊本の4会場
- ③ 宮崎県就職説明会(8月開催予定:一般、未内定者の学生)
- ④サポステによる就労支援

【労働局】

- 引き続き定着支援を実施(状況調査、退職する前の個別相談)
- ・フリーター等非正規雇用労働者に対する正社員就職支援(わか ものコーナーの個別支援強化)

【宮崎県】

① 雇用管理改善に着手したいが相談機関・方法等がわからない 中小企業に対し、多様な働き方や雇用管理改善についてアドバイ スできる、労務管理等に専門の知識を持つ専門講師の派遣を検討

【商工会連合会】

・新任職員、若手職員を対象にしたビジネスマナー等セミナー研

【教育委員会】

・企業訪問による、既卒者との面談を実施予定。



◆『夢 実現。』STOP早期離職!

▼ 大坑。」SIUP干别雕觚:					
7つの項目	H29年度の取組状況 ※朱書きは、追記(リバイス)	H30年度における取組対策(案)			
就職後		※青字は、新規事業等			
⑤ 早期離職者の再就 職支援	【労働局】 ・既卒者への就職支援の強化(三年以内既卒者奨励金及びトライアル奨励金の周知) ・電話や企業訪問による新卒者の就職状況の確認及び助言・公的職業訓練への的確な誘導	【労働局】 ・既卒者への就職支援の強化(三年以内既卒者奨励金及びトライアル奨励金の周知) ・電話や企業訪問による新卒者の就職状況の確認及び助言 ・ハロートレーニング(公的職業訓練)への的確な誘導			
	【宮崎県】 ① ジョブカフェにおいて、「若年者地域連携事業」と連携した 支援(キャリコン、セミナー)	【宮崎県】 ① ジョブカフェにおいて、各ハローワークと連携した支援 (キャリコン、セミナー)			
IV その他					
⑥ 事業主等への支援	【労働局】 ・企業訪問やセミナーを開催し、人材育成における助成金の周知強化を図る。 また、産業別のセミナーを地域ごとに開催し、マッチングセミナーを積極的に実施する(就職フェア前の参加企業へ向けたセミナーを県と合同で開催)。 【宮崎県】 ①雇用管理改善に着手したいが相談機関・方法等がわからない中小企業に対し、多様な働き方や雇用管理改善についてアドバイスできる、労務管理等に専門の知識を持つ専門講師の派遣を検討。②中小企業の若手社員定着に向けた取り組みを支援する窓口を設置し、企業訪問による助言・支援を行うとともに、必要に応じて専門家派遣を行う。また、新入社員等を対象とした集合型研修を実施する。	【労働局】 ・企業訪問やセミナーを開催し、人材育成における助成金の周知強化を図る。 また、産業別のセミナーを地域ごとに開催し、マッチングセミナーを積極的に実施する。 【宮崎県】 ② 左記に同じ			
⑦ 意識の啓発	【教育委員会】 ・県内における若年者の就職促進支援等を関係機関(県立高校) へ周知	【教育委員会】 ・県内における若年者の就職促進支援等を関係機関(県立高校) へ周知			
	【九州経済産業】 ・地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業(委託)による実施及び支援内容を検討。	【九州経済産業】 ・地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業(委託)による実施及び支援内容を検討。			



厚生労働省宮崎労働局

~ひと・くらし・みらいのために~



☞宮崎労働局と宮崎県のコラボした、ユースエール認定制度・くるみん(えるぼし)・若者応援宣言のマークです

H30年度における若年者地域連携事業について

| 若年者のワンストップサービスセンター

通称「ヤングJOBサポート」

※県が運営

○平成16年度から開始され、「若年者自立・挑戦プラン」に基 づき、都道府県の主体的な取組として、若年者に対する幅広い 就職関連サービスをワンストップで提供する施策。

※イメ―ジ

地方自治体と地域の企業、学校等の幅広い連携・協力の下、地 域による主体的な取組として、その実情に応じ、若年者に対する 職業や能力開発、創業支援に関する情報提供、インターンシッ プ等職場体験機会の確保、キャリコン、就職支援サービス等を 行う什組み(センター)を設ける。

*平成17年度から県(労政課)が、ヤングJOBサポートを開設し直 接運営していたが、平成24年度より委託事業になり、宮崎県商工 会議所連合会へ委託し事業を行っている。

H29年度現在

みやざきジョブパークプラス

【県と国の一体的実施施設としてH26.9開設】

(県) ヤングJOBサポート、県宮崎ひなた暮らし、国駅前ハローワーク)



若年者地域連携事業(委託事業)

○平成16年に悪化した雇用情勢に対応するため、失 業を減らすことを最優先とするマッチング支援を求める ため、地域による若年者のためのワンストップサービス センターの整備を推進することとした。

*平成17年度から県(労政課:宮崎県若年者就職促進会議)へ委託し ていたが、平成22 年度に解散したことにより、平成23年度より宮崎県商 工会議所連合会へ委託し事業を行っている。

- ~若年者に対する~
 - ①企業説明会の実施
 - ②集団的就職活動支援
 - ③内定者に対する講習の実施

平成30年度若年者地域連携事業見直し予定

○雇用失業情勢が改善する中で、各都道府県において、それぞれ異なる課題が 浮き彫りとなってお り、こうした各都道府県の課題に応じた、よりきめ細かく質の高いマッチング 支援が求めれられている。

サ

ポ

平成30年度若年者地域連携事業の見直しの方向性

事業スキーム

·労働局、宮崎県(商工労働部、教育員会)、有識者等の地域の関係者で構成される<u>協議会を設置</u>し、当該 協議会において、右記の事業内容のうち都道府県の強み・特色を活かしたものを選択し、目標を設定する。

◆みやざき若年者地域連携事業協議会(仮称)

・これまで「宮崎新卒者等就職・採用応援本部会議」で取り組んでいた内容を精査しながら、新たに協議会とし て、当事業の実施する内容等を選定、目標設定、事業評価を行うこととする。

見直し事業内容

- ○既存の事業を都道府県の強み・特色を活かしたものに重点化
 - ◆次世代を担う若年者の不足が見込まれる企業における人材確保支援
 - ◆地域の特性を踏まえた若年者に対する雇用支援サービス
- ○地方創生に資する人材確保に係る事業を追加
 - ◆UIJターン就職に係る支援
 - ◆地域の人材流出防止・地元定着に係る支援 NEW
- ○都道府県が創意工夫し自ら企画·立案した、都道府県の強み·特色を活かした事業を追加 NEW



宮崎県における事業の方向性

- ◆本県では県内就職率の低さや早期離職率の高さが課題であり、宮崎で暮らす・働く魅力や自己 分析・職業観の育成を就職の前段階から働きかけることが必要。
- ◆現在、県·労働局の事業では対象としていない大学1~3年生への働きかけを実施。

切れ目のない 若者の就労支援について (案)

- 若者の自己実現と県内人材確保のために -

	県内高校生	県内大学生	県外大学生	若年求職者	UI J ターン希 望者等
宮崎の魅力・ 企業を知って もらう	○○ごっこ (県)		保護者等への 情報提供		ひな <u>た</u> センター
宮崎の企業等 への関心を高 めてもらう	ガイダンス (県)	地域連携引	業		
宮崎の企業に 就職してもら う(マッチン グ) 八ロー 「	ジュニアワー クフェア(労 働局) ノーク	春夏就職プエ ア(労働局) 県内就職説明 会(県)	ふるさと就職 説明会(県)	ふるさと就職 説明会(県)	
フォローアッ プ(定着支 援)	ヤングJOB	サポートみや	ざき		

第4回 労働・雇用リテラシー講座(H29.10.26:宮崎大学にて実施)アンケート集計結果

問1 性別

 男
 40
 女
 6
 無回答
 0

問2 大学何年生?

1年生 18 2年生 21 3年生 6 無回答 1

問3 出身地はどこですか?

宮崎県 15 <u>宮崎県以外</u> 31 無回答 O

問4 就職を希望する場所

宮崎県	8	17. 4%
具身思	19	41. 3%
大都市圏	16	34. 8%
無回答	0	0.0%

◆宮崎県以外の出身県

>	群馬県	三重県	兵庫県 和歌山県		鳥取県	岡山県	広島県	
	1	1	2	1	1	1	1	
	福岡県	長崎県	熊本県	大分県	鹿児島県	沖縄県	無回答	
	8	3	4	3	3	1	1	

問5 上記問4の理由

≪宮崎県選択者の回答≫

・地元で働きたいから

・地元を活性化させたい

- ≪出身県選択者の回答≫
- ・地元に戻りたいから

※未定3(6.5%)

- ≪大都市圏選択者の回答≫
- ・自分の価値観を広げたい
- ・大企業に就職したいため

問6 就職活動において期待する行政の支援

- ・社長との交流ができるような場所、イベント
- ・企業の実情についての詳しい情報が欲しい(そこで働いている人の声、辞めた人の理由とか)

若年者地域連携事業の実施に向けた協議会での検討事項

(宮崎労働局)

	事業内容及び支援メニュー等	支援対象者数目標 ※1	就職者数目標 ※1					
I 次世	I 次世代を担う若年者の不足が見込まれる企業における人材確保支援							
Ⅱ 地均	域の特性を踏まえた若年者に対する雇用支援サービス	_	_					
II UI	ターン就職に係る支援	600人	_					
Α	県外在住者の若年者への県内企業魅力発信イベント等 (選定理由) 本県は大学等進学者の73.9%が県外に進学しており(平成29年3月卒、学校基本調査)、そのまま県外企業に就職する者が多い。その要因として、県内企業の認知度の低さが考えられるため、県内企業の魅力発信イベント等を県内で実施することで、県内企業に目を向けてもらうための仕掛けをつくる。また、「宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター」(県運営)のネットワークを活用し、UIJターンを希望する全ての層に対して一体的なUIJターン移住・就職支援を実施する。	500人	50人 ※2					
В	県内就職キャリアプラン作成セミナーの実施 (選定理由) 本県の企業は91%が中小企業(従業員300人未満の企業、平成26年度経済サイエンス調査)であり、大企業と比べ経験年数等によるキャリア形成イメージやUIJターン後のライフプランがイメージしにくい現状にある。そのため、「宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター」(県運営)のネットワークを活用し、県内就職に興味を持つ県外の大学生等を対象として、県内就職後のキャリアプランを作成する少人数セミナー等を県内で実施する。	100人	30人 ※2					
IV 地坎	ずの人材流出防止・地元定着に係る支援	2,800人	280人					
С	県内の大学生等に対する企業交流会等の実施 (選定理由) 本県の4年制大卒者の3年以内の離職率は41.1%であり、全国平均32.3%と比べ8.8ポイント高い状況にある(平成26年3月卒)。そこで、大学1~3年次(就職活動準備段階)のうちに県内企業の若手社員等と交流する機会を設けることで、自分の働くイメージを描いてもらうことが必要である。COC+や県内大学のキャリア支援部門等との連携のもと、県内大学生等を対象として定期的に企業交流会や座談会を実施することで、より現実感をもって働くことについて考えてもらう機会とする。	600人	420人 ※3					
D	「自分を知る、企業を知る」ためのセミナーの実施 (選定理由) 本県の4年制大卒者の3年以内の離職率は41.1%であり、全国平均32.3%と比べ8.8ポイント高い状況にある(平成26年3月卒)。平成25年度に労働局 (ハローワーク)が実施した学校卒業後3年以内の離職者の離職理由調査によると、離職の理由としては「実際に働いてみると仕事が自分に合わな かった」が最も多い。このような就職時におけるミスマッチをなくすため、企業についてよく知ってもらうともに、改めて仕事や働くことについて考えなが ら、自分に合う職業について認識することが出来る就職支援セミナー(業界研究会・企業見学・体験会等)を実施する。	200人	20人					
E	大学生等に対する就職支援セミナー等の実施 (選定理由) 本県の4年制大卒者の3年以内の離職率は41.1%であり、全国平均32.3%と比べ8.8ポイント高い状況にある(平成26年3月卒)。早期離職の要因に繋がる課題として、就職活動時期における応募先選定時の考慮不足や安易な妥協が挙げられる。そのため、県内大学等のキャリア支援部門との連携のもと、学内等で就職支援セミナーを実施し、就職活動に関する知識や適切な応募先選定のために必要な働く環境・ルールについて学ぶ場を設ける。	2,000人	260人					
V 都道	ー 道府県が創意工夫し企画・立案した、都道府県の強み・特色を活かした事業	_	_					
※1 仕様	1 仕様書に記載するのは、支援対象者数の項目(I~V)ごとの合計のみとする。 ※2 県内就職希望者数であり就職者数ではない ※3 参加者の満足者数であり就職者数ではない 5							

宮崎新卒者等就職・採用応援本部設置要領

1 趣旨

新規学校卒業者及び未就職卒業者(以下「新卒者等」という。)が、1人でも多くの内定を得るためには、地域の関係者が緊密に連携し、地域の総力を挙げて就職支援を行う必要がある。

このため、宮崎労働局(以下「労働局」という。)に、公共職業安定所(以下「安定所」という。)、労働局、地方公共団体、学校、労働界及び地域の産業界等で構成する「宮崎新卒者等就職・採用応援本部」(以下「本部」という。)を設置し、労働局・安定所を中心とした、地域における新卒者等の就職支援についての企画・調整等を行う。

2 組織、体制等

(1) 組織

- ① 本部は、本部長、本部員をもって組織し、別表に掲げる職にある者に委嘱し 構成する。
- ② 本部長は、宮崎労働局長とし本部を代表する。
- ③ 本部長は、必要があると認めるときは、別表に掲げる以外の職にある者及び 関係機関・団体の者を本部員に選任することができる。
- ④ 職業安定部長を事務局長とし、庶務は職業安定課で行う。但し、職業安定部 長及び職業安定課長は本部員を兼ねることとする。

(2) 会議の開催

本部は、必要に応じ(本部員の開催提案があった場合)構成員を参集して会議を 開催(構成員がやむを得ず欠席する時は、構成員の所属する機関・団体内から代理 の者を出席させること)し、下記3に掲げる事項について検討等を行うものとする。

(3) 本部の下に置く会議等

本部の構成員と同様の者で構成される会議がある場合は、本部が開催する会議と 併せて開催しても差し支えないものとし、本部において検討すべき事項と同様又は 類する内容について検討・意見交換等が行われる場合は、本部の下に設置された会 議と見なし、本部の名目において開催することとして差し支えないものとする。

3 本部の業務内容

本部においては、以下の事項について業務を実施する。

- (1) 地域における新卒者等支援の実施状況の把握、必要な支援の企画
- (2) 地域における新卒者等の就職・状況等の調査・把握、分析等
- (3) 事業主団体等への雇用対策法に基づく青少年の雇用機会の確保等に関して事業主が適切に対処するための指針についての周知・啓発
- (4) その他新卒者等の就職支援や就職後の職場定着、企業における学卒の採用確保に 資する事項の検討等

4 その他

この要領に定めるもののほか、報告及び予算措置等事業の実施に関し必要な事項については、別途定めるものとする。

5 施行期日

本要領は、平成26年2月8日 (一部改正) 平成26年8月8日 (一部改正) 平成29年11月20日 より施行する。

「宮崎新卒者等就職・採用応援本部」構成員

本部長		宮崎労働局長
		宮崎県経営者協会専務理事
		一般社団法人宮崎県商工会議所連合会専務理事
	経党	宮崎県商工会連合会専務理事
	者・当	宮崎県中小企業団体中央会専務理事
	 経営者・労働者団体	日本労働組合総連合会宮崎県連合会会長
	団体	NPO法人グローカルアカデミー理事
		サンワード・ラボ株式会社代表取締役
		宮崎県社会保険労務士会 会長
	教育関係機関	高等教育コンソーシアム宮崎入口と出口充実事業実施委員会委員
本部員		一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会長
一		宮崎県県立学校校長協会副会長
		宮崎県私立中学高等学校協会校長会長
		宮崎産業経営大学法学部 教授
		九州経済産業局地域経済部地域経済課産業人材政策参事官
		宮崎県商工観光労働部長
	行	宮崎県教育委員会教育長
	政機関	宮崎市役所商工観光部商工戦略局 局長
	関 	宮崎労働局職業安定部長
		宮崎労働局職業安定部職業安定課長
		宮崎公共職業安定所長

事務局	宮崎労働局職業安定部職業安定課
-----	-----------------

(1) 新規学卒者等をとりまく就職・採用等の状況について平成29年3月の新規学卒者の実績

(*)厚生労働省 宮崎労働局 職業安定部職業安定課雇用企画係

新規学校卒業者の求職・ 田 朱 卒 人•就職の状況 籴

別紙1

〈平成29年3

翭 校 硘 卒 辮 翀 夲 + \bigcirc 6 \bigcirc 4 \odot \bigcirc Θ 4 \odot \bigcirc |X|螟 朱 辉 朱 辉 米 米 作 朱 米 孁 就職内定者に占める 県内内定者の割合 求職者全体に占める 県内希望者の割合 就職内定者に占める 県内内定者の割合 県内求職者に対する 求人倍率 \succ ≻ 约 類 類 ٧V Υ S ٧V ۷۷ ٧٧ \mathcal{C}^{Y} Vγ 图 襲 囊 郁 布 5 4 4 5 4 朱 4 4 图 5 5 4 54 4 忆 卍 \succ \succ 僢 掛 **漂** 外 県外 県 外 账 账 県内 示 派 ≕ ≕ ≕ 示 類 卍 ト 定 妣 析 4 长 * * 长 分 文 忆 ω **(** 沝 桝 ท Θ Θ 数 数 数 Θ 数 教 数 数 99.3% 3,750 1.38 0.67 N 1 99.8% 99.0% 1111 2.4256.8%1,163 1,531 57.0% 1,165 1,547 60.0% ,694 ,712 平成29年3月末現在 18 16 \sim 6 \mathcal{O} 9 \sim ω \sim \neg 99.4% 99.9%98.9%肥 48.3% 75.0% 48.6% ,651 ,641 848 793 849 802 10 4 0 9 ω \vdash $^{\circ}$ 99.2% 1,061 99.7% 99.1%女 女 70.2%70.1% ,053 0.0% 315 316 738 745 ∞ _ ယ 0 \sim 99.6% 3,371 2,689 99.9%99.3% 2,701 1 1.25 1,181 56.2% 56.1% 1,508 1,182 1,519 50.0% 2.22 .00 12 10 10 6 ω ω ω ~1 們 年回 99.6% 1,603 99.9% 99.2%覎 46.0% 46.2% 25.0% ,596 862 734 863 740 7 4 G 6 ω ω \sim 耳 100.0% 100.0% 99.5% 1,098 99.4%女 70.8% 70.9% ,093 319 319 774 779 S 2 G 0 $^{\circ}$ 0 \sim 0 $^{\circ}$ 宮崎労働局 增減率·差 対前年 -16.7%-10.0% 100.0% -40.0% 50.0% 11.2% 33.3% 45.5% 33.3% 0.13 0.2% 0.4% 0.33 10.0 0.200.0% 1.5% 1.5% 1.4% 1.8% 0.0% 0.3 -0.3 0.8 0.1 0.7

※求人数は県内の事業所より提出されたものを公表している。

大学等の求職・求人・内定状況

【平成29年3月卒業者】

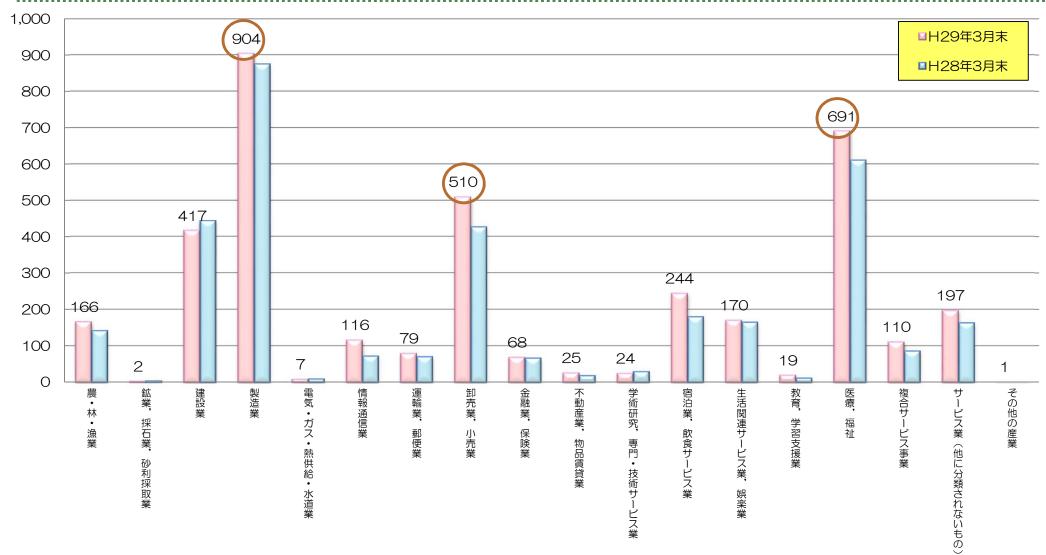
宮崎労働局

· -	ト	②/① 職内定	就	数	①—② 必求職者	在华	就職内定者に 占める県内 内定者の割合	,	就職内定者数②うち県内				4 数	≻ ₩	\ominus	職者数	X	地	業予定	₩			
	Ø	出	맥	K	肥	맥	当者に無内の割合	И	思	맥	Ø	出	맥	県内つち		И	出	□	Ø	出	바		
	96.7%	96.0%	96.4%	35	36	71	48.2%	603	301	904	1,018	858	1,876	2,160	19,371	1,053	894	1,947	1,241	1,252	2,493		中
	95.6%	95.6%	95.6%	30	35	65	42.4%	319	284	603	659	762	1,421	1,496	14,070	689	797	1,486	806	1,102	1,908	大学	成29年
	98.5%	100.0%	98.5%	បា	0	5	87.2%	281	11	292	320	15	335	482	958	325	15	340	389	24	413	短大	平成29年3月末現在
	100.0%	98.8%	99.2%	0	<u> </u>	1	7.5%	3	6	9	39	81	120	182	4,343	39	82	121	46	126	172	事	角
	98.1%	98.5%	98.3%	19	13	32	45.8%	555	281	836	968	856	1,824	1,972	19,292	987	869	1,856	1,188	1,238	2,426		
	98.3%	98.4%	98.4%	11	12	23	38.2%	267	260	527	618	761	1,379	1,363	14,886	629	773	1,402	767	1,100	1,867	大学	前年
	97.5%	92.9%	97.3%	8		9	91.0%	282	13	295	311	13	324	414	863	319	14	333	373	22	395	短大	前年同月
	100.0%	100.0%	100.0%	0	0	0	11.6%	6	8	14	39	82	121	195	3,543	39	82	121	48	116	164	事	
	-1.4	-2.5	-1.9	84.2%	176.9%	121.9%	2.4	8.6%	7.1%	8.1%	5.2%	0.2%	2.9%	9.5%	0.4%	6.7%	2.9%	4.9%	4.5%	1.1%	2.8%	₽	
	-2.7	-2.8	-2.8	172.7%	191.7%	182.6%	4.2	19.5%	9.2%	14.4%	6.6%	0.1%	3.0%	9.8%	-5.5%	9.5%	3.1%	6.0%	5.1%	0.2%	2.2%	大学	前年比
	1.0	7.1	1.2	-37.5%	-100.0%	-44.4%	-3.9	-0.4%	-15.4%	-1.0%	2.9%	15.4%	3.4%	16.4%	11.0%	1.9%	7.1%	2.1%	4.3%	9.1%	4.6%	短大	FLC
	0.0	-1.2	-0.8	I	I	I	-4.1	-50.0%	-25.0%	-35.7%	0.0%	-1.2%	-0.8%	-6.7%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-4.2%	8.6%	4.9%		

[※]宮崎大学医学部・県立看護大学は含まない。 ※端数処理の関係で最下位の数値があわない場合がある。

※この調査は、宮崎労働局管内の大学等9校が、H29.3月末日時点で学生からの報告等により把握している内定状況等を取りまとめたものです。本調査は大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未内定として計上しています。なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は抽出調査として実施しており、調査時点ごとに、電話・面接等の方法により抽出した学生全員に対して学校を通じて内定状況を確認した結果であり、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

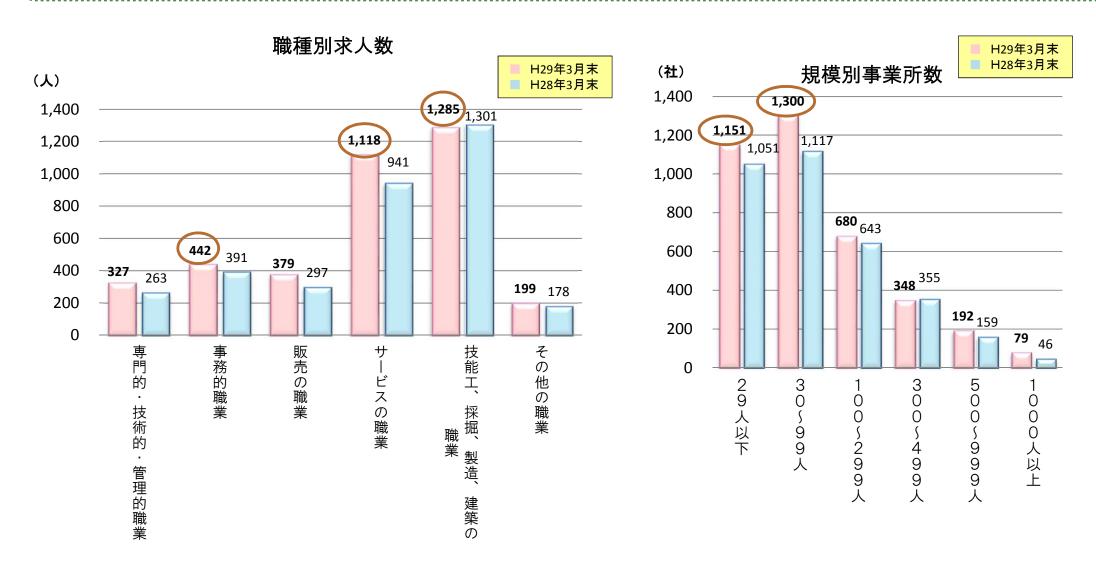
- ○産業別にみると、製造業(904人)、医療・福祉(691人)、卸売・小売業(510人)の順で求人が多い。
- ○前年度と比較して卸売・小売業(84人増)、医療,福祉(80人増)、宿泊業,飲食サービス業(64人増)が特に増加している状況である。



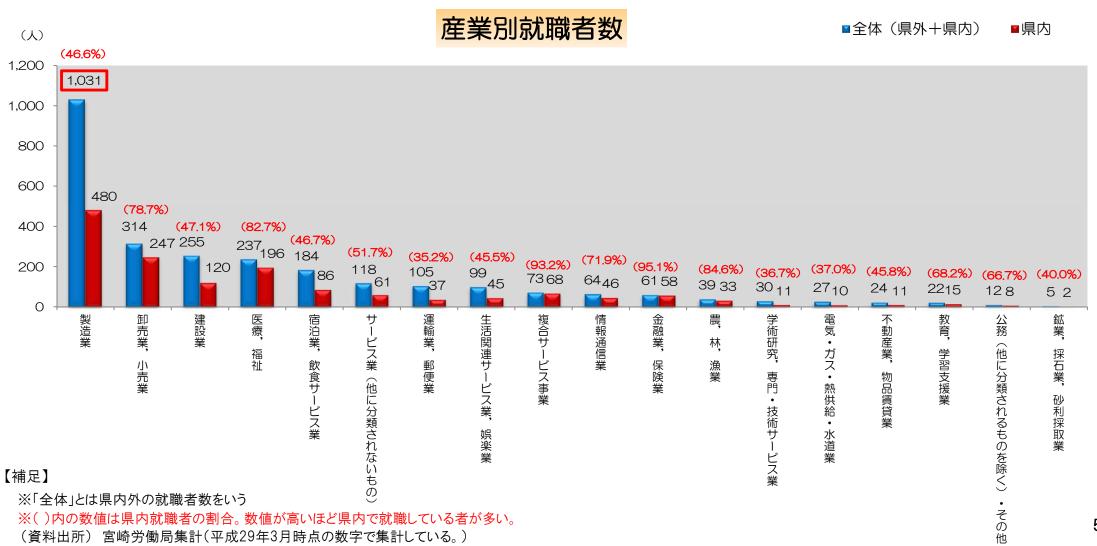
(補足)

- ※「学術研究、専門・技術サービス業」の分類には会計、経理事務所、建設コンサルタント業からの求人が見られる。
- ※「複合サービス業」の分類には農業協同組合からの求人が見られる。
- ※「サービス業(他に分類されないもの)」の分類には自動車整備、機械整備、警備業からの求人が見られる。

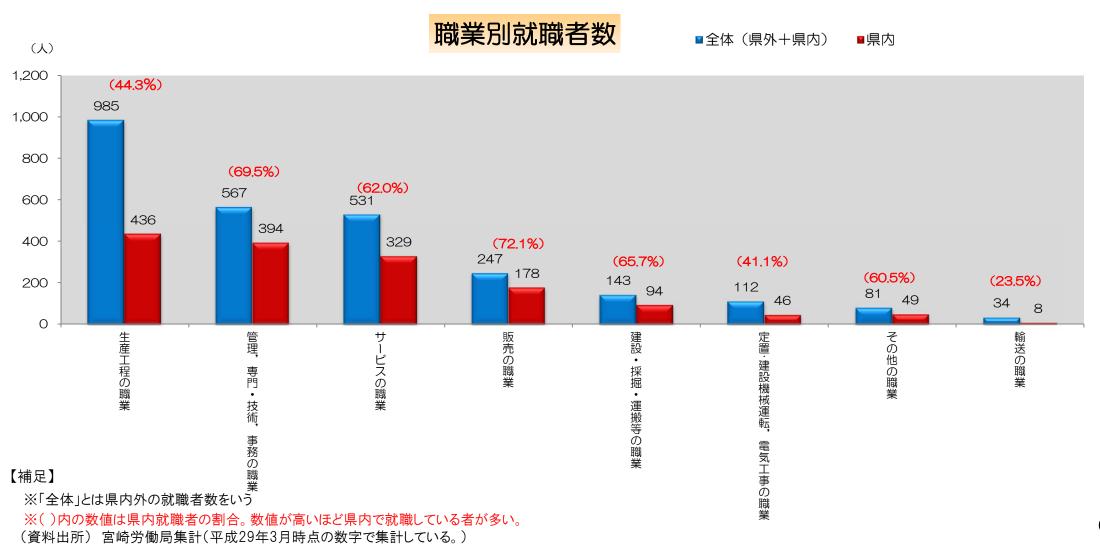
- ○職種別でみると、技能工、採掘、製造、建築の職業(1,285人)、サービスの職業(1,118人)、事務的職業(442人)の順で求人が多い。
- ○求人提出事業所数を規模別でみると、29人以下と29~99人以下の規模の事業所が全体の約65.4%を占めている状況である。



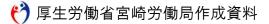
- 産業別では、全体(県内外)、県内ともに「製造業」、「卸売業・小売業」、「建設業」、「医療、福祉」、「宿泊業、 飲食サービス業」の就職者数が多い。
- それらの産業について、県内就職の割合(赤字)を見ると「医療、福祉」が82.7%、「卸売業、小売業」が78.7% と高い割合を占めているが「製造業」が46.6%、「宿泊業、飲食サービス業」が46.7%と低い割合となっている。



- 職業別では、全体(県内+県外)、県内ともに「生産工程の職業」、「管理、専門・技術、事務」、「サービスの職業」の 就職者数が多い。
- それらの職業について、県内就職の割合(赤字)を見ると「管理、専門・技術、事務」が69.5%、「サービスの職業」 が62.0%と高い割合を占めているが、「生産工程の職業」は44.3%と低い。



平成29年3月新規高卒者の『規模別就職状況』(県内外)



- 就職先の事業所規模別就職状況を見ると、 全体(県内+県外)では「1000人以上」、「100~299人」、「30~99人」の事業所順に多く、 県内では「30~99人」、「100~299人」、「29人以下」の事業所順に多い。
- それらの事業所規模について、県内就職の割合(赤字)を見ると「29人以下」の事業所が76.1%と最も高いが、 「1000人以上」の事業所では22.1%と低い。



【補足】

- ※「全体」とは県内外の就職者数をいう
- ※()内の数値は県内就職者の割合。数値が高いほど県内で就職している者が多い。
- ※1,000人以上規模の就職が163人となっているが、この中には県外に所在地を持ち、就業地を宮崎県内としている事業所も含まれる。

新規高校卒業者の就職状況(県外就職先上位10位)

○宮崎の新規高校卒業者で県外に就職した者について、就職先の上位をみると、平成28年度(平成29年3月卒)は、 東京、愛知、福岡、大阪、神奈川の順。上位5位で75.0%を占めている。

	就職者		うち 県外就		県外就職先の上位10位								
	全数	職者数	職者数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
26	2,791	1,516	16 1,275	東京 (299)	愛知 (237)	福岡 (150)	大阪 (124)	神奈川 (84)	鹿児島 (67)	京都 (38)	千葉 (36)	埼玉 (27)	兵庫 (26)
年度	2,791 1,516 1	1,275	(23.4%)	(18.5%)	(11.7%)	(9.7%)	(6.5%)	(5.2%)	(2.9%)	(2.3%)	(2.1%)	(2.0%)	
27		1 511	11 1,181	東京 (284)	愛知 (244)	福岡 (143)	大阪 (103)	神奈川 (89)	鹿児島 (63)	兵庫 (45)	千葉 (40)	埼玉 (20)	岡山·京都 (19)
年度		1,011		(24.0%)	(20.6%)	(12.1%)	(8.7%)	(7.5%)	(5.3%)	(3.8%)	(3.3%)	(1.6%)	(1.6%)
28	2 700	1 524	504 4400	東京 (265)	愛知 (243)	福岡 (185)	大阪 (94)	神奈川 (88)	鹿児島 (67)	千葉 (33)	兵庫 (29)	京都 (24)	埼玉 (18)
年度		1,534	1,166	(22.7%)	(20.8%)	(15.9%)	(8.1%)	(7.5%)	(5.7%)	(2.8%)	(2.5%)	(2.1%)	(1.5%)

『夢実現。』STOP早期離職!

概要

一宮崎における新規学卒者の早期離職防止対策一

平成26年度宮崎新卒者等就職•採用応援本部平成26年11月

『夢実現。』STOP早期離職! - 宮崎における新規学卒者の早期離職防止対策-

宮崎の新規学卒者を とりまく情勢と課題

·<u>雇用情勢の改善</u>を背景に求人数が増加。平成26年3月新規学卒者の<u>就職率</u>は高校卒業者で99.2%、 大学等卒業者で94.8%と**高水準。**

- ・一方で新規学卒者の<u>早期離職率(就職後3年以内離職率)</u>は、高校卒業者で48.3%、大学等卒業者で40.7%と全国平均を上回る。
- ・昨今の雇用情勢の改善は、新規学卒者の就職選択の幅が広がる明るい材料だが、新規学卒者が<u>応募</u> 先を選定する際の考慮不足や安易な妥協、関係者の心の緩み等を生むリスクもある。

早期離職防止対策の必要性

- ・新規学卒者が「**努力して仕事を続ける習慣」**を身につけられなければ、後で取り戻すのは困難。 早期離職は、その後**フリーター等の不安定な雇用**につながることも。
- ・若者が<u>長期的に着実に技能を蓄積</u>すること、<u>高度な能力開発にチャレンジ</u>できることは、<u>地域の人材の</u> 高度化、生産性向上にも資する。

とりまとめ POINT

- · 労働局、自治体、学校、労働界及び産業界等の機関が緊密に連携し、一体的かつ総合的に行う新規学卒者 の早期離職防止対策をとりまとめ。
- ・若者の県外流出や地域の中小零細企業の人材確保等、宮崎が抱える関連課題にも焦点を当てる。
- ・現在就職活動中の者も含めたこの地域の若者が、後悔しない就職選択をし、やりがいと成長を感じられる職 業人生を歩み、それぞれの夢を実現してほしい、というメッセージ。

◆早期離職の要因につながる克服すべき課題

- ●就職活動前の準備段階
- ・働くことそのものへの意識・理解不足/・労働法令等の知識不足
- ・コミュニケーション能力不足/・自己理解・企業理解不足
- ・企業を見極めるための知識不足

●就職活動段階

- ・応募先選定時の考慮不足(ネームバリューで選ぶ等)
- ・安易な妥協(仕事の内容や自らの希望を意識せず、もらいやすい 内定を受けそのまま就職等)

●就職後

- ・転職に対して安易な考えを持つ
- ・職場で悩みを抱えても相談できる環境がない
- ・人材育成等の体制が企業内で未整備

◆早期離職防止対策 ~「7つ」の柱~

- (1)企業・しごとを知る機会の提供
- ~宮崎の魅力ある企業・しごとを知り、地域の魅力や働くことの意義を理解する~
- (2)働く環境やルールについて学ぶ機会の提供
- ~労働市場や労働法令等の知識を身につけ、企業を見極める目を養う~
- (3)マッチング支援
- 新卒応援ハローワーク等による支援で効果的マッチング。あきらめず適職にチャレンジ~
- (4)職場定着のための相談体制の整備
- ~就職後も地域でフォロー。不安を受け止め解消する~
- (5)早期離職者の再就職支援
- ~早期離職に至った際はスピーディーに再就職を支援~
- (6)事業主等への支援
- ~中小零細企業も含めて、若者を地域で育てる環境をつくる~
- (7)意識の啓発
- ~早期離職防止の考え方や具体的な取組を、生徒、保護者、学校、地域等にPR~

- ※(その他)
- ・労働局は労働市場に係るデータを整理・分析し、関係機関と共有する。
- ・新規学卒者の早期離職防止に向け真に効果的なものとなるよう、各種取組の進捗をチェックするとともに、不断の見直しを行っていく。

早期離職防止対策(具体的な取組①)

就職活動準備段階

(1)企業を知る機会の提供 ~宮崎の魅力ある企業を知り、地域の魅力や働くことの意義を理解する~

- ① 『県内企業紹介冊子』の作成及び学校への配付 (宮崎県)
- ② 地元企業の魅力発信を目的とした大学生等の学生レポーターによる地元企業の取材及び番組制作 (中小企業団体中央会)
- ③ ホームページによる地元企業の魅力情報発信(中小企業団体中央会)
- ④ 「若者応援企業宣言」事業の促進 (労働局)
- ⑤ 卒業年次前の大学生等に対する若者応援企業を中心とした県内企業説明会(春の就職フェア)の開催 (労働局等)
- ⑥ インターンシップ・職場見学会の実施 ※高校生対象(教育委員会)、大学生対象(宮崎県)

(2) 個く環境やルールについて学ぶ機会の提供 ~労働市場や労働法令等の知識を身につけ、企業を見極める目を養う~

- ① 高校生や大学生を対象とした労働法令・労働市場・社会人基礎力やマナー等に関するセミナーの実施 (宮崎県・教育委員会・労働局・中小企業団体中央会・教育委員会)
- ② 中高生を対象とした企業人・学卒ジョブサポーターによる職業講話 (労働局)
- ③ 高校生(1,2年生)、保護者及び教職員に対する企業人による進路講演会の実施(教育委員会)
- ④ 新たに就職される方等を対象に、労働関係法・雇用保険法等、社会人として知っておきたい事項をまとめた冊子 「新社会人労働ハンドブック」を配布。(宮崎県)
- ⑤ 連携大学等を対象に授業として「キャリア教育講座」「中小企業魅力発掘講座」「マナー講座」「メンタルヘルス講座」の実施(中小企業団体中央会)
- ⑥ 連携大学等の就職支援担当者を対象としたセミナーの実施(中小企業団体中央会)
- ⑦ 就職を控えた学生等を持つ保護者を対象としたセミナーの実施 (中小企業団体中央会)

早期離職防止対策(具体的な取組2)

Ⅱ 就職活動段階

(3)マッチング支援 ~新卒応援ハローワーク等による支援で効果的にマッチング。あきらめず適職にチャレンジ~

- (1) 学卒ジョブサポーターによる個別担当者制による支援(労働局)
- ② 学卒ジョブサポーターによる出張相談 (労働局)
- ③ みやざきジョブパーク+における就職相談やセミナー、職業紹介の実施(宮崎県・労働局)
- ④ 面接会等による学生と企業の出会いの場の提供 (労働局等)

Ⅲ 就職後

(4)職場定着のための相談体制の整備 ~就職後も地域でフォロー。不安を受け止め解消する~

- ① 新卒応援ハローワーク、みやざきジョブパーク+(一体的実施施設)等における就職後3か月、12か月経過時 (新卒者は6月末時点と翌年3月末時点)の定着状況の把握及び相談·支援(宮崎県·労働局)
- ② みやざきジョブパーク+における職場定着セミナーの実施 (宮崎県・労働局)
- ③ 高卒就職専門員による、就職先訪問による定着指導 (教育委員会)
- ④ 新入社員に対する支援 (宮崎·都城·延岡·小林商工会議所)
- (5) 職場定着を目的とした「チーム力UPセミナー」等の実施(中小企業団体中央会)

(5)早期離職者の再就職支援 ~早期離職に至った際はスピーディーに再就職を支援~

- ① みやざきジョブパーク+(一体的実施施設)、ハローワークにおける再就職支援(宮崎県・労働局)
- ② 公的職業訓練への適切な誘導 (労働局)

早期離職防止対策(具体的な取組③)

IV その他

(6)事業主等への支援 ~中小零細企業も含めて、若者を地域で育てる環境をつくる~

- ① 事業主・管理職に対する人材活性化セミナーの実施(中小企業団体中央会)
- ② みやざきジョブパーク+における職場定着セミナーの実施(宮崎県・労働局)
- ③ ハローワークによる職場定着支援の実施 (労働局)
- 4) 職場定着支援員による職場定着のためのセミナーやフォローアップの実施 (宮崎県)
- ⑤ 企業内での人材育成を支援する各種助成金の周知 (労働局)

(7)意識の啓発 ~早期離職防止の考え方や具体的な取組を、生徒、保護者、学校、地域等にPR~

① 関係機関が連携して、本とりまとめの趣旨、具体的な取組等をPR (各機関)

参考資料3

「さあ、みやざきで働こう!」県内就職等促進プロジェクト

~新規学卒者の県内就職促進、Uターン推進に向けた取組~

平成27年度宮崎新卒者等就職•採用応援本部

1 新規学卒者をとりまく情勢と課題

- 就職内定率は、高卒、大学等卒ともに高水準。
- ・ 一方で、<u>就職内定者に占める県内内定者割合</u>(県内 内定率)は**低水準**。

平成27年3月卒 高卒:54.2%、大学等卒:48.5%

2

県内就職促進・Uターン推進の必要性

(地域にとって)

- ・「就職」というステージを機に多くの若者が県外に流出している状況を放置することは、地域の持続可能な成長・発展を阻害する要因になりかねない。
- ・「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、 本県の人口減少対策は<u>社会減対策</u>を講じることが効果 的としている。

(若者の人生にとって)

- ・大企業志向、希望する職種の存在等の理由で学卒段階で県外に出ていく若者がいる一方で、**県外就職後、離職し 宮崎に戻ってくる若者や戻ることを検討している若者も一 定数存在**する。
- · 外に出て成長したい等の志は否定されるべきではない。
- ・しかしながら、**宮崎に存在する企業の職種・職域等を十** <u>分知らないまま</u>に、**宮崎に住む魅力**を捨て、安易に県外に 出るという選択をしてしまっているとするならば、本人の人 生にとっても損失となるおそれがある。

(宮崎の企業にとって)

- ・雇用情勢の改善を背景に、中小企業も含めて<u>人材不足</u> が顕在化しつつある。
- ・ <u>企業の成長を支えるのは人</u>であり、新卒段階での採用が 低調になることは、当該企業の成長・発展に大きな影響を 及ぼすおそれがある。

③ 「さあ、みやざきで働こう!」県内就職等促進プロジェクトの趣旨

- ・ 労働局・ハローワーク、自治体、学校、労働界、産業界など新規学卒者等の就職・採用 を支援する**関係機関が一体的かつ総合的に行っていく新規学卒者の県内就職促進に向 けた取組をとりまとめ。**
- ・これらの取組を通じて、生徒・学生等が、<u>宮崎で働くことの意義、宮崎の企業の魅力、宮崎そのものの魅力に触れる機会を増やし、県内就職という選択肢、一度県外に出た後将来宮崎に戻ってくる(Uターン)という選択肢が現実の選択肢になることを目指す。</u>
- ・ 昨年度とりまとめた早期離職防止対策(「夢実現。」STOP早期離職!)とも密接に連携。
- これらの努力は、県外出身者の宮崎での就職(Uターン)促進にも資する。

④ 本プロジェクトのコンセプト

・ <u>県内就職の促進、Uターン推進</u>に向けて取り組むべき事項を、「就職支援関係機関」、「生徒・学生」、「保護者」、「地元企業・事業主」、「地域全体」のそれぞれへのメッセージとして、**9つのキーワード**で整理。



(1) 就職支援関係機関(者)に向けて

キーワード ⇒ ① 「意識する」 ②「見せる」 ③「つなぐ・つなかる」

(2) 生徒・学生に向けて

(3)保護者に向けて

キーワード ⇒ ④ 「考える」 ⑤「安心できる」

キーワード ⇒ ⑥「理解する」

(4)地元企業・事業主に向けて

キーワード ⇒ ⑦「成長する」 ⑧「伝える」

(5) 地域の雇用面での魅力向上に向けて

具体的取組次ページ

キーワード ⇒ ⑨「ものづくり」

1

「さあ、みやざきで働こう!」県内就職等促進プロジェクト 〜具体的な取組①〜

(1)新規学卒者の就職を支援する関係機関(者)に向けて

※ 以下、「新」は平成27年度に新たに実施し始めたもの又はこのとりまとめ以降実施を予定しているものをいう

◇キーワード① 「意識する」

新規学卒者の就職を支援する各機関が、生徒・学生やその保護者等と密接に関わる主体としての自覚と責任感を持ち、他機関任せにせず、主体的に自分事として取組を推進していく姿勢が求められる。各機関が、地元就職やUターン就職という選択肢があることや、地元で生活する魅力、地元で働く魅力、地元企業の魅力等を「意識して」伝えられるようにする環境を構築する。また、生徒・学生等に対して効果的な取組を展開できるよう、取組のふりかえりや今後の取組の検討の基礎となる各種データや、取組の受け手となる生徒・学生等の生の声の収集を「意識的に」行う。

<主な取組>

- ① ジョブサポーター、支援員、教員等の職員の意識向上
- ② 教員と地元企業との意見交換・出会いの場の提供
- ・ 県内企業と高等学校進路指導担当者との意見交換会実施。【新】
- ③ 各種取組や情報の整理、分析、生の声を集約し今後の取組に反映
- ・ 新規学卒者をとりまく雇用に関するデータの収集・分析。
- ・ 就職面接会等のイベントにおける生徒・学生等向けのアンケート調査実施。
- ・ジョブサポーター、支援員等の生の声の見える化。

◇キーワード② 「見せる」

宮崎で暮らすことの魅力、宮崎で働くことの魅力、宮崎の企業の魅力等を生徒、学生等に積極的に「見せる」努力が必要。関係機関が有する資源を活用しあいながら、生徒、学生等が求人票だけでは伝わりにくい魅力に触れる機会や直接魅力を体験できる機会を提供する。

<主な取組>

- ① 地元の"きらりと光る"企業の見える化
- ・面接会等様々な場面を通じて、若者応援宣言企業、くるみん認定企業等を積極的にPR。
- ・ 企業紹介冊子「ワクワクWORK」の作成・配布。
- ② 企業の魅力、事業主の経営理念、職場の先輩からのメッセージ等求人票だけでは伝わりにくい情報の積極的発信
- ・ 若者応援宣言企業に"特化した"説明会、面接会の実施。【新】
- · 大卒等求人情報WEB提供サービスの活用促進。
- ・「若者雇用促進法」に基づく取組推進(事業主による職場情報の提供義務化(28年3月施行予定))の周知徹底。【新】
- ③ 地元企業を見聞き・体感し理解を深める取組推進
- ・ 高校生や教員の県内企業訪問・見学。
- ・ 全県立高校におけるインターンシップ実施。
- ④ 宮崎そのものの魅力の発信・雇用施策との連携
- ・ ガイドブックによる魅力PR。宮崎県移住情報サイトによる移住ライフスタイル発信。
- · 宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターを核とした情報発信・就職支援。【新】
- ・ ハローワークが開拓するUIJターン歓迎求人の求人票で上記サイトのリンクをはり全国に情報発信(暮らしと仕事をセットで発信)。【新】

◇キーワード③ 「つなぐ・つながる」

生徒・学生等と地元企業を「つなぐ」場として、就職フェア等のマッチングの場を積極的に 開催する。また、各支援機関の点としての強みを、線や面の強み(みやざきという塊での強 み)に深化させていけるよう、関係機関同士が「つながる」意識を向上させる。

<主な取組>

- ① マッチングの場の設定(就職フェア等の積極的開催)
- 大学等就職面接会、ジュニアワークフェア、ふるさと就職説明会等開催。
- 九州UIJターン就職応援フェアの開催。【新】
- ② 関係機関がつながる場の設定と意識の向上
- ・ 新卒者等就職・採用応援本部開催。本部による各種取組のフォローアップ。
- ・ 県立高校に配置されている「就職戦略コーディネーター」とハローワークのジョブサポーターとの情報交換(求人情報、未内定生徒の動向把握等)。
- ジョブサポーターの学校、大学等出張相談。
- ③ 他の機関が行う取組への協力
- ・他の機関が主催する取組やイベント等について、本とりまとめの趣旨に沿ったもの について、関係機関それぞれの持ち場で自分事としてとらえ積極的に周知。【新】

(2)生徒・学生に向けて

◇キーワード④ 「考える」

生徒・学生等が、働くことそのものへの意識・理解や労働法令等の基礎知識が不十分なまま 就職活動を行っているという声がある。生徒・学生等が自ら知る努力をすることやアクショ ンを起こす基礎力を身につけることが重要である。就職活動期のみならず就職活動前の準備 段階で、自身の職業人生の歩み方についてしっかり「考える」ことのできる環境をつくる。

<主な取組>

- ① 職業講話、労働法制の周知
- ・ハローワークの学卒ジョブサポーターや企業人等による職業講話の実施。
- ・ 生徒・学生等を対象に、労働法令・宮崎の労働市場・社会人基礎力やマナー等に 関するセミナーを実施。ハンドブック等の配布。
- ・ 若者向けの「労働講座(労働法令等に関するもの)」の積極的開催。
- ② インターンシップ、職場見学会等の実施
- ・ 大学生等向けのインターンシップ、職場見学会実施。
- ・ 高校生向けのインターンシップ実施。 ・ 高校生や教員の企業見学実施。
- ・地元企業説明会等のイベント開催。
- ③ ライフプランに関する授業の実施
- ・ 宮崎県、都会での生活ベースの比較、生徒自身に就職後のライフプランを考えて もらう授業の実施。【新】
- 4 新ジョブ・カードの普及・促進
- キャリア・プランニングのツールとして新ジョブ・カードの活用を積極的に促進。【新】
- 宮崎県地域ジョブ・カードセンターによる制度周知等。【新】

「さあ、みやざきで働こう!」県内就職等促進プロジェクト 〜具体的な取組②〜

◇キーワード⑤ 「安心できる」

若者が、就職後に自身の仕事に疑問を持ったとき、図らずも早期離職に陥ったとき、通っていた学校・大学等を中途退学せざるを得なくなったとき、一度都会に出てふと故郷に戻りたいと思ったとき、気軽に、率直に「安心して」相談できる、スピーディーに次の就職につなげられる環境を構築する。

<主な取組>

① JOBパーク+、新卒応援八ローワーク等における若者の総合的支援

- ・ 若年者に対する就職関連情報の提供、キャリア・カウンセリング、各種セミナー、 職業紹介・相談等を切れ目なく実施。
- ・ 地元企業就職後の定着支援(就職前に地元の高校生、大学生等に対してサービスの存在を周知。)。
- · 早期離職後の再就職支援。
- ・ 公的職業訓練等への誘導。
- 教育訓練給付金制度の活用促進。
- ・ 宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターを核とした情報発信・UIJターン就職支援。

② 中途退学者、既卒3年以内学生等の就職支援

- ・中途退学者が生じた際の関係機関(学校、JOBパーク+、ハローワーク、地域 若者サポートステーション等)同士の連携強化。【新】
- ・中途退学者向けのリーフレット(就職、学業相談が出来る相談機関の案内)の配布。【新】
- ・ 既卒3年以内の新卒取扱いの理解促進。
- ・トライアル雇用奨励金の活用促進。

③ 若年者地域連携事業の実施

・ 若年者に対する就職支援事業として、職業意識の醸成や自己理解を促し、安 定した職業へ就くための支援等を実施。

(3)保護者に向けて

◇キーワード⑥ 「理解する」

生徒・学生が進路選択をするとき、身近で寄り添う保護者の存在感は大きい。 また、Uターン者の声として、Uターンに必要な情報を「親・親戚からのロコミ」で入手したという声が一定数ある。保護者が、地元宮崎の企業の魅力や地元就職の魅力等に触れ、 「理解する」ことができるよう、必要な取組を推進する。

<主な取組>

① 保護者に地元就職、地元企業の魅力を知ってもらう機会の提供

- ・県外大学進学者の保護者への県内就職情報の提供。【新】
- ・高校生及び保護者向けの地元企業説明会開催。【新】

(4)地元企業・事業主に向けて

◇キーワード⑦ 「成長する」

地元企業の「成長」と魅力ある職場づくりなくして、地元雇用の促進は望めない。生徒、学生等が、「ここなら成長できる」と思える企業内人材育成の機会の充実や、「自分の人生をかけてもいい」と思えるような安心感のある職場環境等を地道に作り上げていくことが必要。地元企業が「成長する」きっかけとなるサポートの充実を図る。また、産業全体の底上げ、「成長」も必要。中核企業の育成、創業促進、成長分野の産業集積など産業振興施策を推進する。

<主な取組>

① 事業主向けセミナー等の積極的開催

- 新規学卒者向けの求人受理説明会、労働法令関係説明会、各種助成金関係説明会、雇用管理改善に向けた研修等の開催。
- ・UIJターン人材活用に関する連続セミナーの開催。

② 学卒ジョブサポーターによる事業主向け支援

- ・ 労働市場の状況を踏まえた求人受理時のアドバイスや指導の徹底。
- ③ 人材育成や雇用環境整備の促進に係る助成金の活用促進
- キャリアアップ助成金、キャリア形成促進助成金等の活用促進。
- ・職場定着支援助成金、建設労働者確保育成助成金の活用促進。
- ・ 助成金の申請に係るミニ説明会の実施。【新】

④ 「若者雇用促進法」に基づく取組推進

- ・青少年に関する雇用管理の状況が優良な中小企業について厚生労働大臣が認 定を行う「認定制度」(27年10月施行)の積極的周知と認定企業確保。【新】
- 労働関係法令違反の事業主に対する、ハローワークの新卒者向け求人不受理の 取扱い(平成28年3月施行予定)の周知徹底。【新】

5 正社員転換・待遇改善実現キャンペーン等の推進

- ・ 宮崎県正社員転換・待遇改善実現本部を中心として、正社員転換・待遇改善実現に資する施策(今後5年を見据えて)をとりまとめ。【新】
- 働き方改革推進。

⑥ 「みやざき産業振興戦略」に基づく産業振興施策の推進

- ・「良質な雇用の確保」と「付加価値の高い産業の振興」を目指す「みやざき産業振 興戦略を今年度策定し、中核的企業の育成や創業の促進、新たな産業集積など に取組む。産学金官が一体となって推進。【新】
- ② プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業
- ・都市部の高度な専門性を持つ人材と企業とのマッチングを推進するため、来年1 月に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置。【新】

「さあ、みやざきで働こう!」県内就職等促進プロジェクト ~具体的な取組③~

◇キーワード⑧ 「伝える」

平成27年度に行ったジュニアワークフェア(高校生向け企業面接会)に参加した生徒の生の声として、「地元企業の方の熱い思いが伝わった」、「将来性があった」、「スキルアップできるシステムだった」などの声が寄せられた。企業・事業主の熱い思いを企業・事業主自身が積極的に「伝える」ことが極めて重要である。企業・事業主が、雇用管理改善の実施や採用活動等での工夫、早期求人提出等に引き続き努力していくこと、それらの努力の成果や企業の魅力を生徒・学生に積極的に「伝える」ことを推奨していく。

<主な取組>

① 「伝える」機会の積極的活用

- ・ 就職フェア、説明会、面接会、インターンシップ、教員との意見交換等の場や若者 応援宣言企業等の仕組の最大活用。(各機関はそれらを企業に呼びかけ。)
- ② 学卒向け求人の早期提出
- ・ 一人でも多くの新規学卒予定者が宮崎の求人に目を向けられるよう、学卒向け求 人の早期提出を徹底。(各機関はそれらを企業に呼びかけ。)

(5)地域の雇用面での魅力向上に向けて

·· ◇キーワード⑨ 「**ものづくり**」

食料品製造など宮崎が強みを有するものづくりの魅力を積極的にPRしていくことが必要である。生徒、学生等が、宮崎のものづくりの現場で培われてきた技術力やその道を「極めた」職人の技に触れる機会を積極的につくり、ものづくり分野での県内就職促進を目指す。

<主な取組>

① ものづくりを担う次世代「匠」育成支援モデル事業

- ・ものづくり企業の生きた現場を教材にした実践的な現場体験(「ものづくり企業現場体感塾」)など、県内ものづくり企業と学校教育が連携し、実務経験を組み込んだ実践的な人材育成の取組を実施し、次世代人財の育成と県内ものづくり企業への定着を図る。県内工業高校学生を対象。【新】
- ② ものづくりマイスター・熟練技能者による技術指導等
- ・高校生、大学生等に対する実技指導、職場体験学習。
- ・ 地元中小企業の若年者に対する実技指導、職場体験学習。
- ③ 高校生を対象にしたものづくり現場の見学会
- ④ 匠の技ジュニア体験教室
- ・ 小・中学校に技能士を派遣し、技能を体験できる教室を開催。児童・生徒が技能に触れ、関心を持つ機会を提供。
- ⑤ ブードビジネスへのマッチング支援
- ・フードビジネス関連企業への就職を目指す求職者等を対象として、企業見学会(バスツアー)を実施することにより、人材を求めるフードビジネス関連企業とのマッチングの機会を提供。

H29.11月号

生徒・保護者の 皆さんへ 第3弾

みやざきの若者就職前線

~必見!知って得する県内高卒求人速報

平成29年度 宮崎県内企業の高卒求人受理状況

(平成29年9月30日現在)確定値

	(十次29年9月00日現在)框と値							
ハローワーク	宮崎	延岡	日向	都城	日南	高鍋	小林	宮崎 全体
①求職者数	948	412	227	521	153	151	149	2,561
うち県内希望者割合 (%)	520 (54.9)	215 (52.2)	156 (68.7)	282 (54.1)	82 (53.6)	121 (80.1)	81 (54.4)	1,457 (56.9)
②就職内定者数 (内定率)	511 (53.9)	259 (62.9)	152 (67.0)	268 (51.4)	73 (47.7)	83 (55.0)	88 (59.1)	1,434 (56.0)
うち県内内定者数 (内定率)	230 (45.0)	120 (46.3)	96 (63.2)	1 44 (53.7)	34 (46.6)	63 (75.9)	48 (54.5)	735 (51.3)
③県内求人数 [求人提出事業所数]	1,364 [314]	490 [123]	2 47 [81]	947 [199]	211 [69]	341 [64]	266 [72]	3,866 [922]
④求人倍率 ③/①	1.44	1.19	1.09	1.82	1.38	2.26	1.79	1.51
うち県内希望者に 対する求人倍率	2.62	2.28	1.58	3.36	2.57	2.82	3.28	2.65

ご存知ですか?

宮崎には、若者が安心して、安定した働きやすい環境づくりを推進している 「ユースエール認定企業」が6社、「若者応援宣言企業」が 124社あります!

(株) 久保田オートパーツ(室崎市)

h3夕部品宮崎共販(株)(宮崎市)

(株)ビー・ビー・シー(宮崎市) (株)金丸慶蔵商店(東臼杵郡門川町)

(株)スズキ自販宮崎(宮崎市)

(株)インテリア日向(日向市)

(株)イートスタイル(小林市)

(株)ケイディ商事(都城市)

トヨタエルアンドエフ(株)(宮崎市)

(株)アイティー(延岡市)

(株)キヨナガ(延岡市)

植松商事(株)(宮崎市)

(株)ハンズマン(宮崎市)

(株)大森淡水(宮崎市)

米良雷機産業(株)(宮崎市)

金融業,保険業

(株)宮日商事(宮崎市)

(株)宮崎銀行(宮崎市)

(株)三喜(宮崎市)

(株)山形屋(宮崎市)

農 業・漁 業

(一社)みやざき公園協会(宮崎市) (有)尾鈴ミート(高鍋町) 黒瀬水産(株)(日南市) (株)アグリさいと(西都市) (有)河野木材(西都市)

建設業 江坂設備工業(株)(宮崎市) 原田建設(株)(宮崎市) (株)増田工務店(宮崎市) (株)キサヌキ(延岡市) 西南電気(株)(延岡市) チトセホーム(株)(日向市) (株)内山建設(日向市) (株)河北(高鍋町) (株)山口鉄工建設(児湯郡高鍋町) 吉原建設(株)(都城市) 富岡建設(株)(日南市) (株)公口重機建設(日南市) (株)サンホーム(宮崎市) (有)総設(宮崎市) (有)一政設備(宮崎市) 旭建設(株)(日向市) 向陽鉄工株式会社(延岡市) (株)志多組(宮崎市) 大和開発(株)(宮崎市)

(株)アブニール(東諸県郡門川町) 河野建設(株)(日南市)

(有)東栄空調(東諸県郡門川町)

(株)竹井建設(日南市)

(株)キサヌキ(延岡市)

坂口建設(株)(小林市)

日興建設(株)(宮崎市) (株)小田工業(延岡市)

(株)南雷工(延岡市)

(株)トーエイ電設(都城市) (株)アーム(宮崎市)

情報通信業

日本アイティディ(株)(宮崎市) (株)MJC(宮崎市) (株)コア・クリエイトシステム(宮崎市) センコービジネスサポート(株)(延岡市) スパークジャパン(株)(宮崎市) (株)オー・エム・シー(宮崎市) (株)オロ宮崎(宮崎市)

(株)コア・クリエイトシステム(宮崎市)

運輸業,郵便業

宮崎交诵(株)(宮崎市) 元明運送(有)(都城市)

卸 売 業,小 売 業 製 造 業

★(株)日本剣道具製作所(西都市) ★南九州化学工業(株)(高鍋町) (株)豊中ホット研究所(宮崎市)

(株)岡崎組(宮崎市)

(株)ニチワ(日南市)

(株)ダーバン宮崎ソーイング(日南市) (株)高嶺木材(日南市)

(株)ミヤザキ九州工場(小林市)

萱公アパレル(株)崎田工場(串間市) 菅公アパレル(株)高城工場(都城市)

勝田被服(株)(児湯郡高鍋町)

(有)南海服装小林工場(小林市)

(株)日向製錬所(日向市)

宮崎サンフーズ(株)(児湯郡新富町)

(有)都農農産加工工場(児湯郡都農町)

(株)都城酒造(都城市)

(株)清本鐵工(延岡市) 持永木材(株)(都城市)

(株)興電舎(延岡市)

(株)あくがれ蒸留所(日向市) 宮崎富士通コンポーネント(株)(日南市)

アリマン乳業(有)(児湯郡川南町)

赤江機械工業(株)(東諸県郡綾町)

(株)キヨモトテックイチ(日向市)

(株)三共(小林市)

(有)イエムラ(延岡市)

不動産業,物質賃貸業

(株)宮崎南不動産(宮崎市) (株)キング(宮崎市)

学術研究,専門・技術サービス業

社会保険労務士 行政書士 杉山晃浩事務所(宮崎市) (株)東九州コンサルタント(延岡市) 太陽技術コンサルタント(株)(延岡市) キャデック(株)(宮崎市) (株)クロスマート(宮崎市)

宿泊業,飲食サービス業

★(株)北諸(都城市)

青島リゾート(株)(宮崎市) (株)東横イン宮崎駅前店(宮崎市) (有)サニーガーデン(日向市)

生活関連サービス業, 娯楽業

(有)ダスキン佐原(宮崎市) 岩下兄弟(株)(小林市)

教育, 学習支援業

学校法人宮崎カトリック学園延岡カトリック幼稚園(延岡市)

療,福 祉

(塔) デナンの圏(国富町) ★(医) 養気会(小林市) ★(医) 浩然会内村病院(小林市) (株) アイケア(エリシオン薫る坂)(宮崎市)

(株)アイケア(エリシオン聖陵)(西都市)

(株)春(宮崎市)

(医)慶明会介護老人保健施設おびの里(日南市)

(社)ときわ会(小林市) (医)相愛会桑原記念病院(小林市)

(医)公佑会(小林市)

(医) 暁星会三財病院(西都市) (医) 慶明会おび中央病院(日南市)

(社)常陽社会福祉事業団(都城市)

(医)隆徳会(西都市) (社)綾康会やすらぎの里(東諸県郡綾町)

(福)大淀福祉会(都城市)

(医)久康会平田東九州病院(延岡市) (医)睛緑会宮崎医療センター病院(宮崎市)

(社)玉峰会特別養護老人ホーム牧水園(日向市)

(株)こもれび(宮崎市)

(社)常陽社会福祉事業談(都城市)

(医)静雄会藤元上町病院(都城市)

(社)川水流福祉会特別養護老人ホームひえいの郷(延岡市)

(社)敬和福祉会(都城市)

複合サービス業

生活協同組合コープみやざき(宮崎市)

サービス業(他に分類されないもの)

(株)NPK(宮崎市)

(株)セキュリティロード(宮崎市) (株)グローバル・クリーン(日向市)

(株)F·Cガード(宮崎市)

※★印はユースエール認定企業

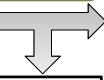
企 業

- ◆深刻な課題
- ・ 少子化で若者の人手不足(高齢化)
- ・企業の継続が不安(継承者不足)

<u>〇企業努力</u>

- ・ 職場環境の改善
- (働きやすく、やりがいのある職場作り)
- 若者の人材育成の強化 (研修制度の充実、先輩との信頼関係)

労働局 宮崎県 市町村



- 地域創生 (活性化)
- 人口減少
- 県外流出

生徒·保護者

- ◆県内(管内)企業には・・・
- ・求人が少ない
- どんな求人(仕事)があるか分からない
- ・県外求人よりも賃金が低い
- ◆県外に出るけど・・・
- ・将来、地元に戻りたいけど、どんな 企業があるか分からないから迷って いる(Uターン、進学後)

もっと、地元企業の魅力を知ってもらいたい! 【企業と生徒の出会いの場】

今後のイベントスケジュール

時 期	労働局(ハローワーク)	宮崎県
11月	 ・就職面接会(高校等)【ハローワーク都城主催】 日 時:11月6日(月) 13:00~16:00 場 所:都城市ウェルネス交流プラザ茶霧茶霧ギャラリー対象者:平成30年高校・大学等卒業予定者、一般求職者・就職面接会(高校等)【ハローワーク日向主催】 日 時:11月15日(水) 14:00~16:00 場 所:ハローワーク日向 2階会議室対象者:18歳~35歳未満、地元企業6社程度・就職面接会(高校等)【ハローワークプラザ宮崎主催】 日 時:11月24日(金) 時間は調整中場所:宮崎市民ブラザ4階対象者:宮崎、日南、高鍋所管轄内の高校3年生未内定者、企業30社程度 	
12月	·若者就職面接会 【宮崎労働局委託事業】 日 時:詳細調整中 対象者:学卒未内定者、既卒者、45歳未満	・ <mark>県内就職・進学体験フェア(高校1年生対象キャリア形成支援事業)</mark>
1月	・ミニ面接会 【ハローワーク日南 主催】 日 時:調整中 場 所:ハローワーク日南 2階会議室 対象者:既卒者を含む35歳未満の求職者、企業9社程度	
2月	・企業説明会【ハローワーク都城 主催】 日 時:2月~3月中 調整中 場 所:都城市中央公民館 対象者:平成31年3月高校卒業予定者、企業18社程度	・企業ガイダンス (高校2年生対象キャリア形成支援事業) (都城会場:50社予定) 日 時:2月2日(金) 場 所:都城市早水体育文化センター (宮崎会場:80社予定) 日 時:2月9日(金) 場 所:宮崎市総合体育館 (延岡会場:50社予定) 日 時:2月14日(水) 場 所:延岡市民体育館
3月	・2018 みやざき春フェア 〜県内企業の情報満開〜 日 時:3月27日(火) 場 所:宮崎市内 調整中 対象者:平成31年3月以降大学等卒業予定者、 平成30年3月大学等・高校卒業者、保護者、学校関係者 一般求職者、公的職業訓練修了(修了予定)者	

生徒・学	生徒・学生・若者向け 面 接 会 ・ 説 明 会・講座・相談会 ☆ <u>各イベント</u> をクリックするとHPへ移動します。				
時期	労働局(ハローワーク)	宮崎県	その他		
11月	・				
12月	・就職面接会(大学等)【ハローワークプラザ宮崎主催】 日 時:調整中 場 所:ハローワークブラザ宮崎 大会議室 対象者:大学等参加者30名程、企業6社程度		 マイナビインターンシップフェア 日 時:12月26日(土)13:00~17:00 場 所:JA・AZMホール 対象者:平成30年3月卒業予定者 		
1月	 ・ 若者就職面接会【宮崎労働局委託事業】 日 時:1月29日(月) 場 所:MRT micc 対象者:学卒未内定者、既卒者、45歳未満 ・ ミニ面接会【ハローワーク日南主催】 日 時:調整中 場 所:ハローワーク日南 2階会議室 対象者:既卒者を含む35歳未満の求職者、企業9社程度 	 宮崎から世界と勝負する 「宮崎県成長産業企業合同面接会・企業研究セミナー】 日時:1月20日(土)12:00~16:00 場所:宮崎市民ブラザ4Fギャラリー対象者:30年3月卒業予定者、中途採用者 	 新成人イベント(20doプロモーション) 【宮崎市主催】 日 時:1月8日(月) 場 所:宮崎市中心市街地 対象者:新成人など 		
2月	・企業説明会【ハローワーク都城主催】 日 時:2月~3月中 調整中場所:都城市中央公民館対象者:平成31年3月高校卒業予定者、企業18社程度 ・就職面接会(大学等)【ハローワークブラザ宮崎主催】日時:2月中調整中場所:ハローワークブラザ宮崎大会議室対象者:大学等参加者30名程、企業6社程度	企業ガイダンス(高校2年生対象) (都城会場:50社予定) 日 時:2月2日(金) 場 所:都城市早水体育文化センター(宮崎会場:80社予定) 日 時:2月9日(金) 場 所:宮崎市総合体育館(延岡会場:50社予定) 日 時:2月14日(水) 場 所:延岡市民体育館			
3月	2018 みやざき春フェア〜県内企業の情報満開〜日時:3月27日(火)10:30〜16:00場所:シーガイアコンベンションセンター対象者:平成31年3月以降大学等卒業予定者、平成30年3月高校・大学等卒業者、保護者、学校関係者、既卒者、一般求職者、公的職業訓練修了(修了予定)者		・リクナビ就職セミナー合同会社説明会【マイナビ主催】 日 時:3月3日(土) 場 所:JA・AZMホール 場 所:JA・AZMホール 対		



-
6

企業・学権	交向け セミナ	セミナー ・ 懇談会 ☆ ☆	
時期	労働局(ハローワーク)	宮崎県	その他
11月			
12月	• 進路保障協議会 日 時:12月~30年1月 対象者:高校進路指導主事、ハローワーク		
1月			 講演会 【みやざき若者サポートステーション主催】 日 時:1月19日(金) 場 所:宮崎市民文化ホールイベントホール 対象者:行政、学校、保護者、企業、 支援機関等
2月	• 高校2年生対象の就職ガイダンス 日 時:調整中 対象者:希望高校		
3月			

U I J ターン・移住向け 各種イベント・説明会・面接会 ☆ 各イベントをクリックするとHPへ移動します。					
時期	宮崎県	宮崎市			
11月					
12月	 ・インターンシップフェア 日 時:12月16日(土)13:30~17:00 場 所:県電ホール(宮崎市) 対象者:大学生、専門学校生等 ・宮崎から世界と勝負する(福岡会場) 【宮崎県成長産業企業合同面接会・企業研究セミナー】 日 時:12月23日(土)13:30~16:00 場 所:福岡市 エルガーラホール7階 中ホール 対象者:30年3月卒業予定者、中途採用者 		20do大都市圏プロモーションイベント 日 時:11月〜3月(詳細未定) 場 所:東京都、大阪市、福岡市 対象者:大都市圏に暮らす若者や学生等		
1月	• 宮崎から世界と勝負する(東京会場) 【宮崎県成長産業企業合同面接会・企業研究セミナー】 日 時:1月14日(日)13:30~16:00 場 所:東京交通会館12階カトレアサロンB 対象者:30年3月卒業予定者、中途採用者	・新成人イベント (20doプロモーション) 日 時:1月8日(月) 場 所:宮崎市中心市街地 対象者:新成人など	• 20do大都市圏プロモーションイベント 日 時: 11月〜3月(詳細未定) 場 所: 宮崎市 対象者: 就活を控えた子を持つ保護者		
2月					
3月					

